

Ⅲ 結果詳細

Ⅲ－１．子育ての困りごと 及び工夫・取組事例

(1) 子育ての困りごとの有無 全体

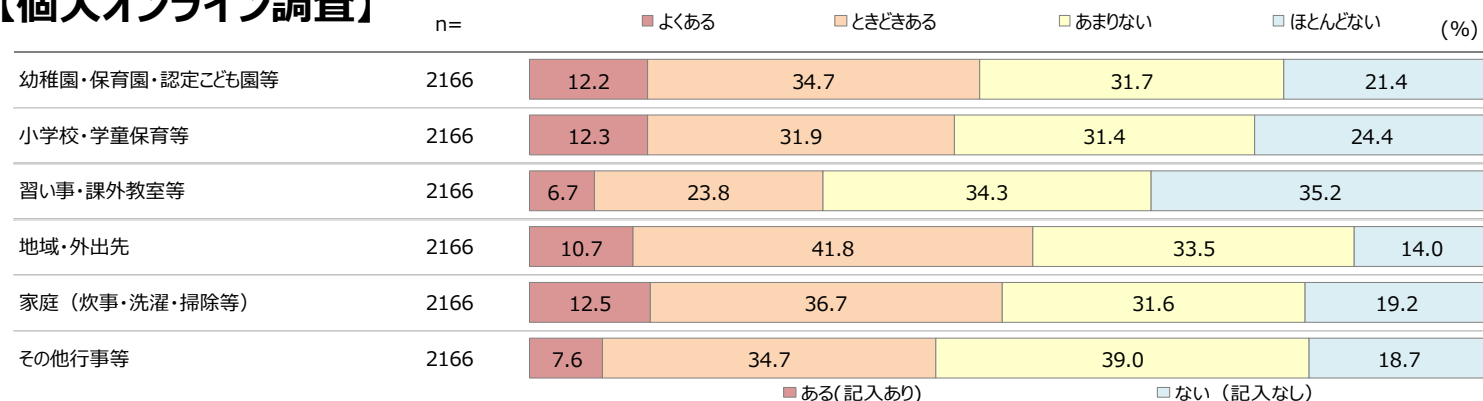
子育ての日々の対応で、やりづらくて負担を感じていること、変えられそうなのに変わっていないこと等について、

『幼稚園・保育園・認定こども園等』『小学校・学童保育等』『習い事・課外教室等』『地域・外出先』『家庭（炊事・洗濯・掃除等）』『その他行事等』

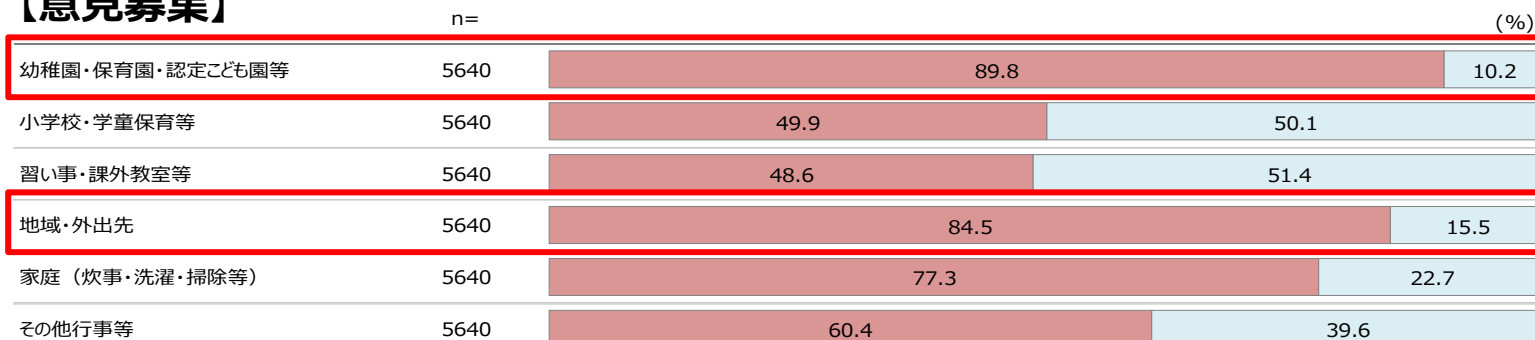
の6場面を設定し、それぞれについて有無をたずねた。

- 個人オンライン調査では、日々の子育てでの困りごとが「ある（よくある、ときどきあるの合計）」の割合は、『地域・外出先』（52.5%）が最も高く、『家庭（炊事・洗濯・掃除等）』（49.2%）、『幼稚園・保育園・認定こども園等』（46.9%）、『小学校・学童保育等』（44.2%）が続く。
- 意見募集では、困りごとの記入があった割合は『幼稚園・保育園・認定こども園等』（89.8%）が最も高く、『地域・外出先』（84.5%）が続く。

【個人オンライン調査】



【意見募集】



※回答者が6つの場面ごとに設けられたそれぞれの回答欄に困りごとを記入した数を基に割合を算出。

Q6 子育ての日々の対応で、やりづらくて負担を感じていること、変えられそうなのに変わっていないことはありますか。以下のそれぞれの場面の、決まり事や利用方法、仕組み等の例を参考に、あなたが経験している（した）こと、見聞きしたことで、最も近いものをお選びください。

(1) 子育ての困りごとの有無 男女別

- 個人オンライン調査では、男性より女性の方が困りごとがある割合が高い。
- 男性、女性ともに『地域・外出先』での困りごとのある割合が高い。

【個人オンライン調査】

	n=	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	(%)
男性 幼稚園・保育園・認定こども園等	1057	7.2	30.0	37.6	25.3	
小学校・学童保育等	1057	8.0	26.8	37.4	27.8	
習い事・課外教室等	1057	5.3	22.8	36.1	35.8	
地域・外出先	1057	8.6	35.7	38.8	16.9	
家庭（炊事・洗濯・掃除等）	1057	7.9	31.9	37.4	22.9	
その他行事等	1057	4.8	30.5	42.9	21.9	
女性 幼稚園・保育園・認定こども園等	1105	17.1	39.3	25.9	17.7	
小学校・学童保育等	1105	16.4	36.9	25.5	21.2	
習い事・課外教室等	1105	8.1	24.8	32.4	34.7	
地域・外出先	1105	12.8	47.8	28.1	11.3	
家庭（炊事・洗濯・掃除等）	1105	17.0	41.4	26.2	15.5	
その他行事等	1105	10.3	38.9	35.2	15.6	

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略

Q6 子育ての日々の対応で、やりづらくて負担を感じていること、変えられそうなのに変わっていないことはありますか。以下のそれぞれの場面の、決まり事や利用方法、仕組み等の例を参考に、あなたが経験している（した）こと、見聞きしたことで、最も近いものをお選びください。

Ⅲ－１．子育ての困りごと及び工夫・取組事例

(2) 幼稚園・保育園・認定こども園等について

① 幼稚園・保育園・認定こども園等での困りごとの有無	26p
② 幼稚園・保育園・認定こども園等での困りごとの概要	27p
③ 幼稚園・保育園・認定こども園等での具体的な困りごと、工夫・アイデア	28p
(参考) 幼稚園・保育園・認定こども園等に関わる困りごとへの取組事例	31p

(2) ①幼稚園・保育園・認定こども園等での困りごとの有無

- 幼稚園・保育園・認定こども園等の困りごとが「ある（よくある、ときどきあるの合計）」と回答したのは46.9%で、6場面のうち3番目に高い割合となっている。
- 女性では約6割（56.4%）が「ある」と感じており、特に、就労雇用形態が『正規・役員』（63.4%）の割合が高い。
- 世帯年収が高いほど、「ある」と感じる割合も高い傾向となっている。

Ⅲ-1-(2)①-1.TOTAL	n=	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	(%)	ある 計	ない 計
幼稚園・保育園・認定こども園等	2166	12.2	34.7	31.7	21.4		46.9	53.1

Ⅲ-1-(2)①-2.性年代別					Ⅲ-1-(2)①-3.性別・就労雇用形態別					Ⅲ-1-(2)①-4.世帯年収別				
	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計		n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計		n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	12.2	34.7	46.9	TOTAL	2166	12.2	34.7	46.9	TOTAL	2166	12.2	34.7	46.9
男性 計	1057	7.2	30.0	37.2	男性 正規・役員	801	6.9	30.8	37.7	300万円未満	152	10.5	31.6	42.1
男性20歳代	108	12.0	26.9	38.9	非正規	116	10.3	29.3	39.6	300～500万円未満	370	13.5	31.9	45.4
男性30歳代	463	9.1	34.1	43.2	自営・自由業 (専門職含む)	63	11.1	27.0	38.1	500～700万円未満	458	9.8	36.7	46.5
男性40歳代	486	4.3	26.7	31.0	無職	77	2.6	24.7	27.3	700～1000万円未満	394	13.2	38.3	51.5
女性 計	1105	17.1	39.3	56.4	女性 正規・役員	435	22.3	41.1	63.4	1000万円以上	186	16.1	36.6	52.7
女性20歳代	115	18.3	40.0	58.3	非正規	387	15.2	38.5	53.7					
女性30歳代	555	18.6	40.7	59.3	自営・自由業 (専門職含む)	65	12.3	47.7	60.0					
女性40歳代	435	14.9	37.2	52.1	無職	218	11.5	34.4	45.9					

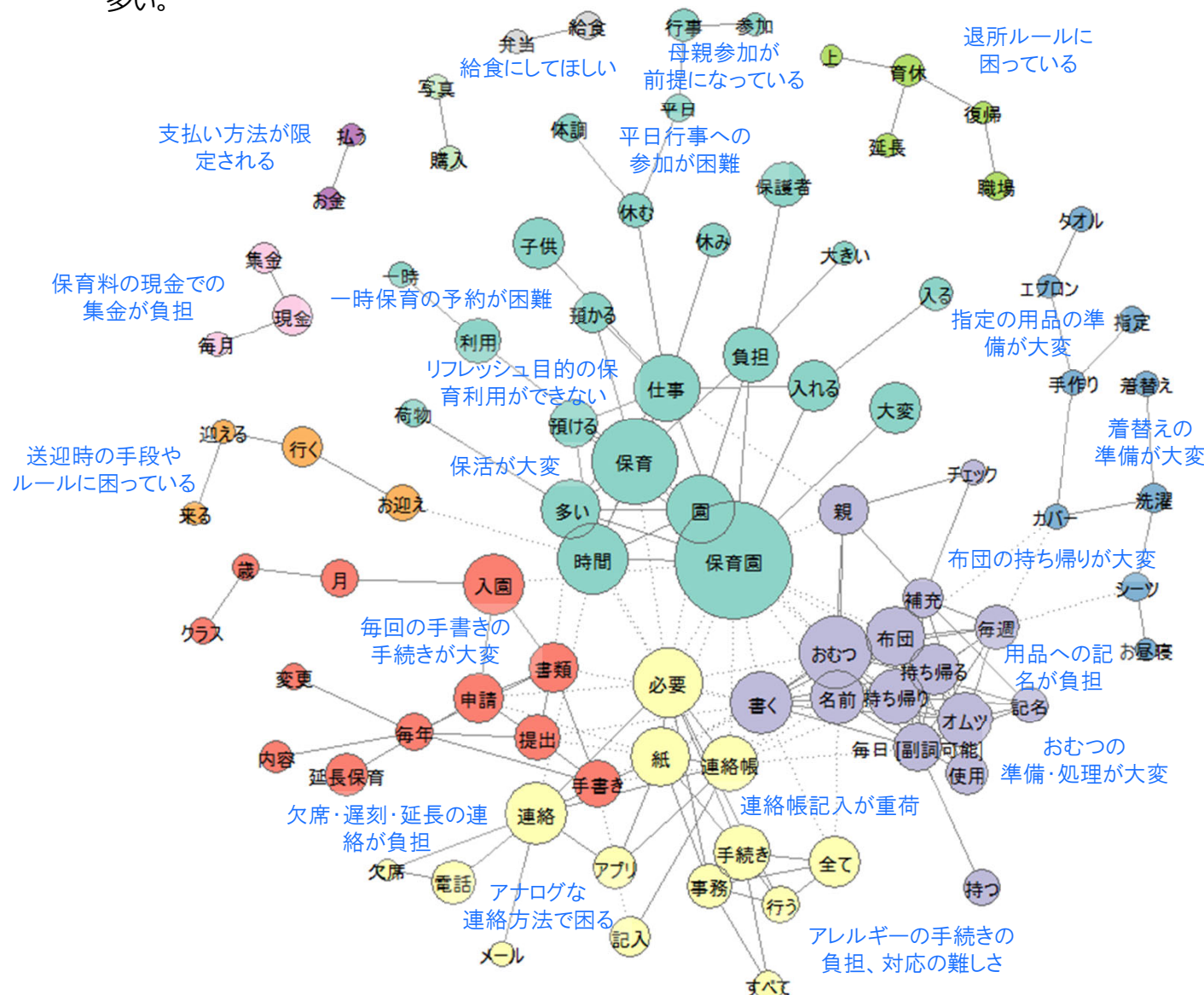
※世帯年収が「わからない・答えたくない」は省略（TOTAL値には含む）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q6 子育ての日々の対応で、やりづらくて負担を感じていること、変えられそうなのに変わっていないことはありますか。以下のそれぞれの場面の、決まり事や利用方法、仕組み等の例を参考に、あなたが経験している（した）こと、見聞きしたことで、最も近いものをお選びください。：幼稚園・保育園・認定こども園等

(2) ②幼稚園・保育園・認定こども園等での困りごとの概要

- 幼稚園・保育園・認定こども園等の困りごととしては、園へ預けること自体の困難さや、手続きや連絡の手段、おむつの扱いに関連した声が多い。



▼テキストマイニングとは

文章等の膨大なテキスト情報を単語（名詞、動詞等）に分解し、出現頻度や出現パターンの分析を行う方法。

▼表示のネットワーク図

自由回答から抽出した単語の出現パターンが似通ったものを線で結んだ図（共起ネットワーク）。ネットワーク分析の手法の中心性に基づいて単語を色分けしている。位置よりも線で結ばれているかどうかの意味があり、共起（出現が似通っているか）の程度が強いことを意味する。

色分け（グループ分け）

共起関係を自動的にグループ分け

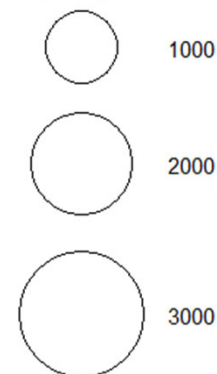
線（エッジ）

共起の程度が強いほど太い線で表示
やや弱い共起関係は破線で表示

円（頻度）

出現数が多い語ほど円を大きく表示

Frequency:



「KH Coder」Webサイト
<https://khcoder.net/>より作成

※ テキストマイニングにより、出現パターンの似通った語のグループを可視化して意見を分類（テキストマイニングソフト「KH Coder」による結果）。

(2) ③幼稚園・保育園・認定こども園等での具体的な困りごと、工夫・アイディア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイディア等
入園申込等の手続き	・入園申込時、入園時、入園後で似たような内容を何度も手書きで書く。 ・年度替わりに、出生時体重や予防接種履歴等、毎年変わらない情報を手書きしており、勤務先記入欄もあるため会社にも負担をかけている。 ・マイナンバーカード活用でオンライン手続きが出来るようにしてほしい。	
持ち物の準備・記名	・保育園指定の用品が多く、サイズ等の規格が細かく決まっていて準備が手間。 ・おむつやビニール袋まで、一つ一つ記名を求められる。 ・着替え、おむつ、タオルを毎日準備するため荷物が多い。 ・使用済みおむつの持ち帰り。 ・毎週布団の持ち帰りがあり、雨の日などは対応できない。 ・転園の際、園で使用する用品の規格が厳しいため前の園で使っていたものを継続して使用できず、新調にかなりの費用がかかった。	・名前シール・名前ハンコ ・おむつのサブスクリプションサービス（定額制・使い放題） ・布団のレンタルサービス ・布団をベッド式に変更
園と保護者の連絡手段	・連絡帳が手書き。 ・連絡帳がデジタル化されたが、起床時間、朝食、排便、検温等の情報を全て入力しないと送信できないため、紙の時より手間が増えた。 ・園からのお知らせが紙であるため、長期間休むと一切受け取れない。 ・欠席、遅刻などの連絡方法が電話のみ。 ・緊急時の連絡先に父親の番号を書いても母親の番号を聞かれ、連絡は母親の職場に来る。 ・延長保育が2週間前の予約制で、紙で申請書を書かなければならない。 ・必須対応の連絡事項が教室の入口に貼られていたため気づかなかった。	・登降園管理や保護者への連絡をオンライン化
保育料等の支払い方法	・保育料は口座引落しだが、おむつ処分料や給食費等その他の集金が現金で、「お釣りのないように」といわれる。 ・各種支払いが口座引落としなのはいいが、指定の地銀しか受け付けてくれないため、わざわざ口座を開設した。 ・クレジットカードやQR決済などキャッシュレスの支払いを導入してほしい。	・インターネットによる集金や写真の申込

(2) ③幼稚園・保育園・認定こども園等での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
行事等の日程調整・参加について	・行事が基本的に平日で仕事をしていると参加できない。 ・保護者会等の役員は母親が前提となっている風潮がある。 ・共働きでも参加できるような短時間のPTA活動を用意してほしい。 ・働いているのに保護者会で自発的なイベントの開催を迫られる。	
一時保育等の利用	・土曜保育やリフレッシュ目的保育も制度上可能だが、申込を拒まれ、実質利用させてもらえない。 ・一時保育の予約が電話のみで、予約開始日の朝にかけてもすぐ埋まってしまう。 ・預かり保育なしの日に仕事があると、仕事を休むか、他の園の一時保育を探しているが、その場合の一時保育料は無料にしてほしい。	・公園等での自主保育で、親同士が保育をしたり預け合う ・自宅に来て子供をみてる自治体サービス
保活・退所ルール	・保活が大変、リサーチに時間もかかる上、必ず入れるかわからない。 ・自治体によっては下の子が生まれて育休をとると、上の子が退所になり、仕事復帰の際は2人分の保活が必要になる。 ・しばらく保育園に入れなかった。個人事業主なので家にいるなら子育てしながら仕事できたらと市役所に言われた。 ・1、2歳児の定員を増やしてほしい。	

(2) ③幼稚園・保育園・認定こども園等での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
その他	・昼食のおかずは園で出してくれるが、白米を毎日持参しなければならず、負担が大きい。 ・母親に対してお弁当作りを迫られる。給食にしてほしい。 ・病後やアレルギー等の投薬依頼に対し、毎回手書きの書類を作成し、押印する必要がある。 ・自転車で送迎しても園に置けず、別に駐輪場を契約する必要があり費用がかかる。 ・園服のフリーマーケットや譲渡情報の掲示板があるとよい。 ・園によって延長保育の時間がまちまちで、受かってからでないとどの園に通えるかわからないので、時短勤務にするにも何時間働けるのか会社に回答できなかった。送迎保育ステーションのようなシステムをもっと導入して欲しい。 ・近隣の希望園に入れず、遠い園に通っているため送迎が大変。雨の日は電車通園したいが、混雑していて子供を抱えて乗るのは不可能。雨に降られながら自転車で通っている。 ・なぜ幼稚園には送迎バスがあるのに、保育園にはないのか。送迎バスがあれば、自宅から遠くの園でも通わせることができた。	・自治体の保育園送迎ステーション ・自治体が主催するバス送迎システム

(参考) 幼稚園・保育園・認定こども園等に関わる困りごとへの取組事例

回答者から寄せられた工夫・アイデアとは別に、全国の自治体等で行っている取組事例を紹介

事例 オンライン申請手続き マイナポータル「子育てワンストップサービス」(デジタル庁)

・目的や背景

利用者の利便性向上を目的として、各種行政手続きをオンライン上で申請できるマイナポータルの運用が開始されている。子育ての分野に限らず、介護・被災者支援等の幅広い分野の手続きが対象で、申請可能な手続きは自治体により異なる。

・取組の概要

子育てワンストップサービスとは、マイナンバーカードを保有している子育て世帯向けのオンラインサービスである。保育園の入園申込や児童手当の利用申請等が自治体の窓口に出向くことなく、オンライン上で書類作成、申請が可能(一部手続きは書類作成まで)。全国の市区町村1,565団体(人口カバー率98.6%)で、手続きの検索・比較、一部様式の印刷まで可能。子育てに関する手続きの電子申請は、970団体(76.2%)で実施済み。

(令和2年9月30日時点)



山梨県「マイナンバーカードで子育て関連の電子申請ができます(子育てワンストップサービス)」より

<https://www.pref.yamanashi.jp/shichoson/kosodateoss.html>

事例 登降園管理や保護者連絡のICT化

・目的や背景

連絡手段や見守りのICT化により、子供の安全、保護者の安心と負担の軽減、保育士の保育業務の負担軽減、自治体との連携等を目的に進められている。

・取組の概要

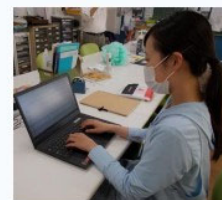
主な機能として、スマホアプリやICカード(電子マネーカード等)、タブレット端末、見守り機器等の導入による登降園管理や電子連絡帳での帳票管理、園児情報や成長記録の管理のほか、欠席・延長連絡やお便り等の配信、さらには子供の写真・動画のオンライン購入サービス等が展開されている。



登降園時には、先生が保護者を出迎え、カードをタッチ!



タブレットでは、登降園時間を管理!



先輩から後輩へシステム操作の指導をすることが伝統に!



預かり保育の利用データを一括管理!

埼玉県「園務改善のためのICT化事例集」より

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/184039/ict-jireisyu.pdf>

(参考) 幼稚園・保育園・認定こども園等に関わる困りごとへの取組事例

回答者から寄せられた工夫・アイデアとは別に、全国の自治体等で行っている取組事例を紹介

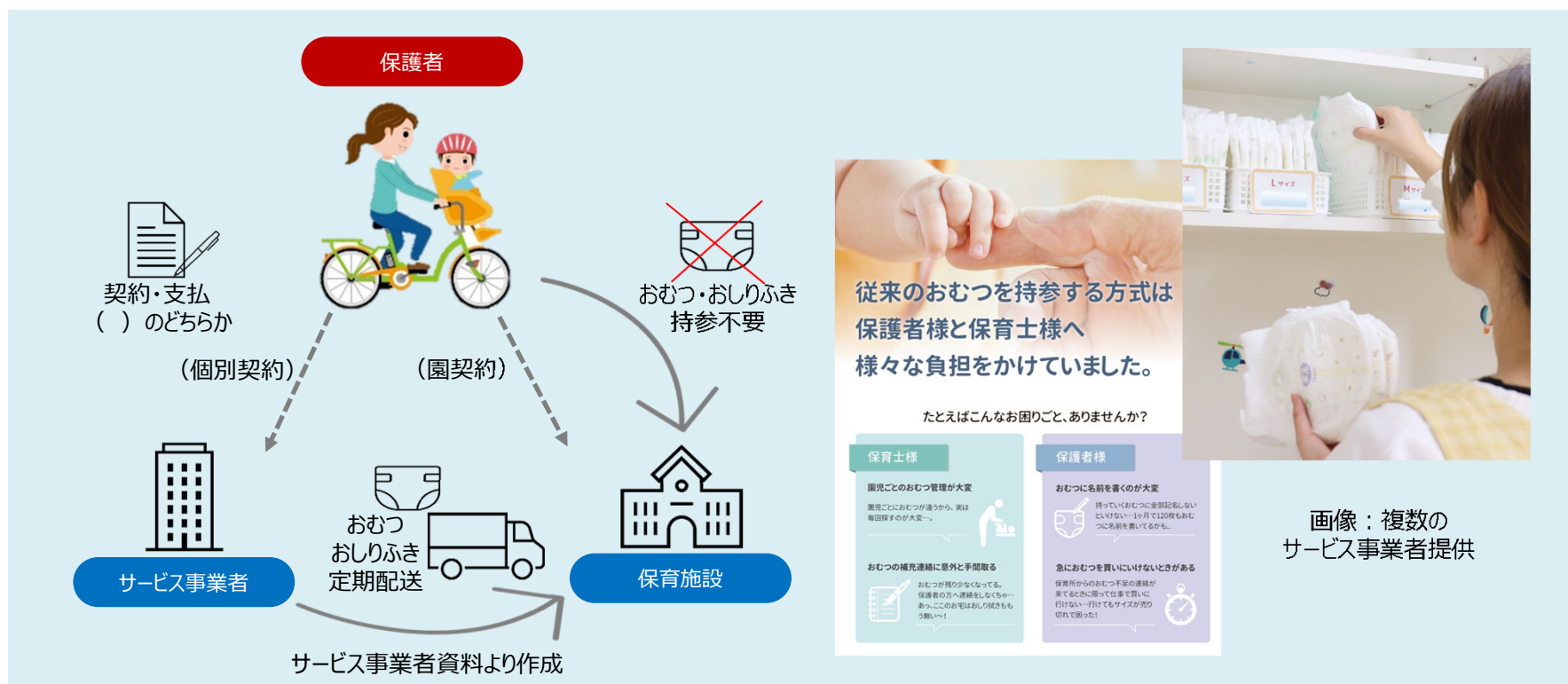
事例 おむつのサブスクリプションサービス

・目的や背景

保護者がおむつに記名し、持参する手間を省き、保育士が保護者におむつの補充を依頼する事務作業の負担を軽減することが目的。

・取組の概要

おむつとおしりふきを直接、保育園に届けるサブスクリプションサービスである。料金は、月額定額料金が多く、サイズ変更可能、使い放題が基本である。サービスによっては、欠席した際の持ち帰りが可能といったオプションサービスを、追加料金で実施している。利用する場合の契約や支払いは、サービス事業者が園と契約し園が保護者から集金する、またはサービス事業者と保護者が直接個別契約を結び支払う等の方法がある。



(参考) 幼稚園・保育園・認定こども園等に関わる困りごとへの取組事例

回答者から寄せられた工夫・アイデアとは別に、全国の自治体等で行っている取組事例を紹介

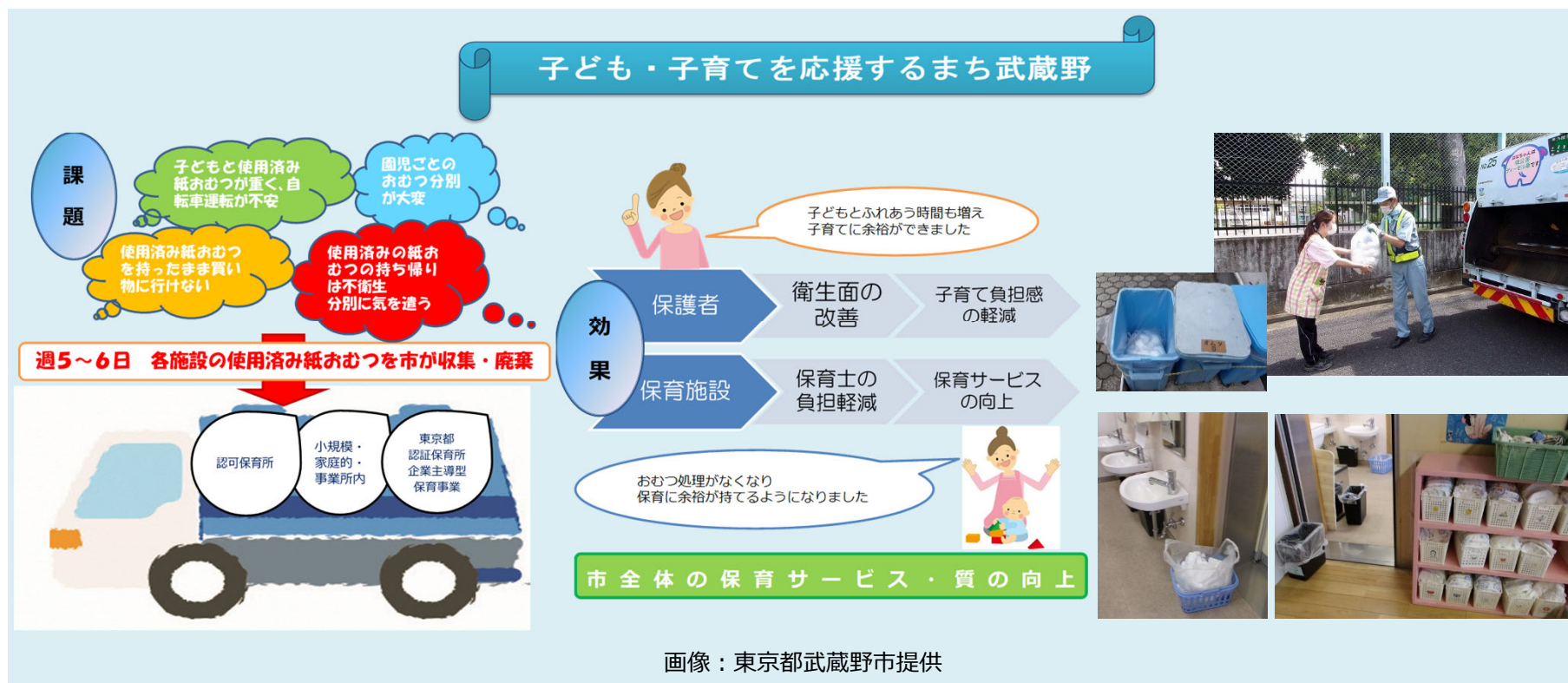
事例 おむつの園内処分

・目的や背景

紙おむつが主流となり、保護者から使用済みおむつの持ち帰りが負担である、衛生上不安があるといった声があがっていたことを受け、おむつの持ち帰りの負担を軽減することを目的に開始。

・取組の概要

委託業者が巡回しておむつを回収・処分している。処分費用の確保も課題であり、施設と保護者どちらかが負担する場合のほか、自治体が公費負担している場合もある。



(参考) 幼稚園・保育園・認定こども園等に関わる困りごとへの取組事例

回答者から寄せられた工夫・アイデアとは別に、全国の自治体等で行っている取組事例を紹介

事例 送迎保育ステーション

・目的や背景

待機児童対策として、また保護者の就業時間と保育園の登降園時間のミスマッチ、住まいや勤務地と保育所等の所在地が離れているといった困りごとを解消し、保護者による送迎の負担を軽減することを目的としている。

・取組の概要

保護者が通勤で利用する駅前等に「送迎保育ステーション」を設置し、保護者の送迎はステーションまでとする。送迎保育ステーションは、児童が日中在籍する保育所や幼稚園等に登園するまでの間、降園してから保護者が迎えに来るまでの間に預かる保育施設であり、子供たちは、ステーションから専用の「送迎バス」で園に登降園する。利用料や送迎先は、自治体によって異なる。



画像：福島市提供



画像：松戸市提供



画像・チラシ：町田市提供



画像：流山市提供

町田市 送迎保育ステーション

送迎保育ステーションとは・・・

朝と夕方、児童が日中在籍する保育所等に登園するまでの間、降園してから保護者が迎えに来るまでの間、その児童を一時的に預かる保育施設です。専用車両で、送迎保育ステーションと日中在籍する保育所等の送迎をします。

こんな悩みが解決！

保育の希望時間と保育所等の開所時間が合わない
住まいや勤務地と保育所等の所在地が離れている

対象児童

送迎対象施設に入所するクラス年齢
1～5歳児（2、3号認定こども）
定員 32人
※ 対象施設は裏面をご確認ください

利用料金

月額 2,000円
延長保育 150円/30分 月額上限 6,000円

利用日時と1日の流れ

平日・土曜日 朝7時～9時、夕16時～18時 延長18時～20時

7:00	8:00	9:00	16:00	17:00	18:00	20:00
ステーション で預かり	送	※	送	※	ステーション で預かり	延長保育

※日中は、それぞれの在籍園ですこします。

Ⅲ－１．子育ての困りごと及び工夫・取組事例

(3) 小 学 校 ・ 学 童 保 育 等 に つ い て

① 小学校・学童保育等での困りごとの有無	3 6 p
② 小学校・学童保育等での困りごとの概要	3 7 p
③ 小学校・学童保育等での具体的な困りごと、工夫・アイデア	3 8 p
(参考) 小学校・学童保育等に関わる困りごとへの取組事例	4 0 p

(3) ①小学校・学童保育等での困りごとの有無

- 小学校・学童保育等の困りごとが「ある（よくある、ときどきあるの合計）」と回答したのは44.2%で、6場面のうち4番目に高い割合となっている。
- 女性では約5割（53.3%）が「ある」と感じており、特に『女性40歳代』（62.8%）の割合が高い。
- また、性別・就労雇用形態別では、女性は『正規・役員』（55.0%）、『非正規』（56.4%）、『自営・自由業』（52.3%）で、男性は『自営・自由業』（52.4%）で「ある」と感じる割合が高い。

Ⅲ-1-(3)①-1.TOTAL	n=	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	(%)	ある 計	ない 計
小学校・学童保育等	2166	12.3	31.9	31.4	24.4		44.2	55.8

Ⅲ-1-(3)①-2.性年代別					Ⅲ-1-(3)①-3.性別・就労雇用形態別					Ⅲ-1-(3)①-4.世帯年収別				
	n=	よくある ときどきある	(%) ある 計		n=	よくある ときどきある	(%) ある 計		n=	よくある ときどきある	(%) ある 計			
TOTAL	2166	12.3 31.9	44.2	TOTAL	2166	12.3 31.9	44.2	TOTAL	2166	12.3 31.9	44.2			
男性 計	1057	8.0 26.8	34.8	男性 正規・役員	801	8.0 26.2	34.2	300万円未満	152	11.8 28.9	40.7			
男性20歳代	108	11.1 18.5	29.6	非正規	116	4.3 26.7	31.0	300～500万円未満	370	12.4 29.5	41.9			
男性30歳代	463	8.9 26.6	35.5	自営・自由業 (専門職含む)	63	14.3 38.1	52.4	500～700万円未満	458	11.1 31.4	42.5			
男性40歳代	486	6.6 28.8	35.4	無職	77	9.1 23.4	32.5	700～1000万円未満	394	15.0 32.0	47.0			
女性 計	1105	16.4 36.9	53.3	女性 正規・役員	435	17.5 37.5	55.0	1000万円以上	186	15.6 32.3	47.9			
女性20歳代	115	7.0 20.0	27.0	非正規	387	15.8 40.6	56.4							
女性30歳代	555	18.6 32.8	51.4	自営・自由業 (専門職含む)	65	16.9 35.4	52.3							
女性40歳代	435	16.1 46.7	62.8	無職	218	15.1 29.8	44.9							

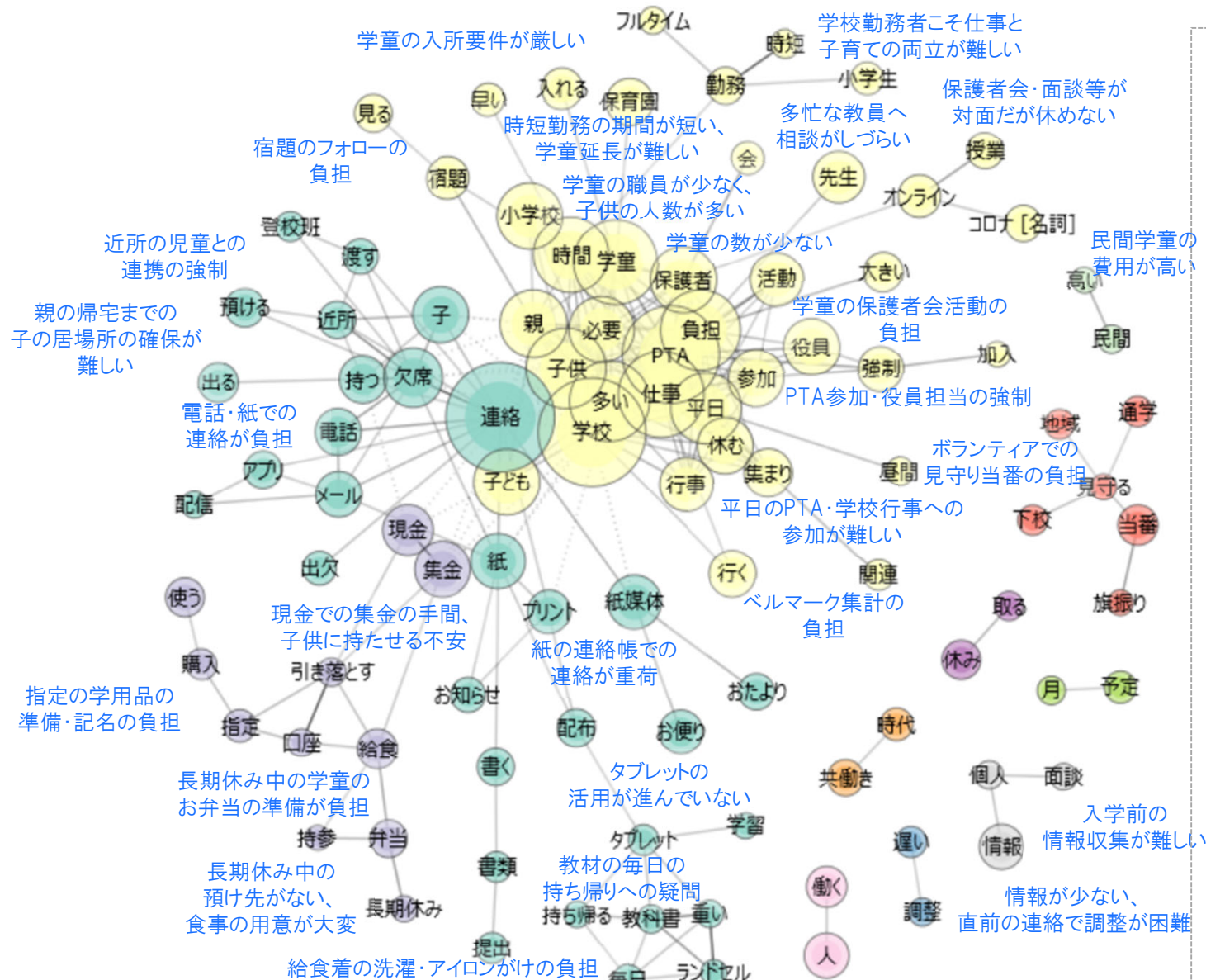
※世帯年収が「わからない・答えたくない」は省略（TOTAL値には含む）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q6 子育ての日々の対応で、やりづらくて負担を感じていること、変えられそうなのに変わっていないことはありますか。以下のそれぞれの場面の、決まり事や利用方法、仕組み等の例を参考に、あなたが経験している（した）こと、見聞きしたことで、最も近いものをお選びください。：小学校・学童保育等

(3) ②小学校・学童保育等での困りごとの概要

- 小学校・学童保育の困りごととしては、仕事と保護者会・PTAや学童との調整についてや、学校との連絡方法に関連した声が多い。



▼テキストマイニングとは

文章等の膨大なテキスト情報を単語（名詞、動詞等）に分解し、出現頻度や出現パターンの分析を行う方法。

▼表示のネットワーク図

自由回答から抽出した単語の出現パターンが似通ったものを線で結んだ図（共起ネットワーク）。ネットワーク分析の手法の中心性に基づいて単語を色分けしている。位置よりも線で結ばれているかどうかの意味があり、共起（出現が似通っているか）の程度が強いことを意味する。

色分け（グループ分け）

共起関係を自動的にグループ分け

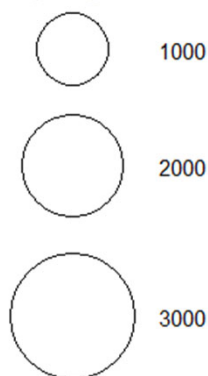
線 (エッジ)

共起の程度が強いほど太い線で表示
やや弱い共起関係は破線で表示

円 (頻度)

出現数が多い語ほど円を大きく表示

Frequency:



「KH Coder」Webサイト
<https://khcoder.net/>より作成

※ テキストマイニングにより、出現パターンの似通った語のグループを可視化して意見を分類（テキストマイニングソフト「KH Coder」による結果）。

(3) ③ 小学校・学童保育等での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
持ち物の準備・記名	・指定の学用品のサイズ等の規格が細かく決まっていて準備が手間。 ・持ち物の一つ一つに記名を求められる。 ・名前の刺しゅうをして欲しい。 ・給食当番のスモックや帽子を自宅で洗濯、アイロンがけするのが負担。 ・おはじきや書道セット等の教材は共有とし、個人が所有しなくても良いのではないか。 ・教科書や持ち物が多いためランドセルがとても重い。タブレットに教科書の内容を入れて学校に置いておくことはできないか。 ・制服など学校指定衣料は高額で何着も持てないので、帰宅してから洗って翌日には乾かさなければならない。	・名前シール ・制服リユース
学校と保護者の連絡手段	・学校からのお知らせが紙であるため、紛失の恐れがあったり、保管が面倒。夫婦での共有もしにくい。 ・電話で欠席連絡をすることになっているが、学校から「朝の電話が多すぎて業務に差し支える」とお便りがきた。それならメールかSNSで済ませられるようにしてほしい。 ・近所の子に連絡帳を持たせて欠席の連絡をしなければならない。体調不良時は人と接触すべきではないこの時代にそぐわない。 ・タブレットが持ち帰り禁止となっているが、タブレットを通じて宿題やお便りを出して欲しい。	・欠席連絡や保護者への連絡をオンライン化
行事の日程調整	・入学説明会が平日で、予備日がないため参加が難しい。 ・行事の日程等、周知が遅いもしくは直前。 ・休日の行事があるが、月曜日が振替休日となるので結局、仕事を休まなければならない。	
PTA・保護者会の負担	・PTAや保護者会が平日に対面で開催されるため参加できない。 ・PTAの出席や役員となることが半ば強制的。 ・PTAで何時間もかけてベルマークを手作業で集計している。 ・学童保育の保護者会活動が負担に感じる。 ・個人面談は、対面かオンラインかを選択できるようにしてほしい。	・オンラインでのPTA活動・保護者会開催 ・PTAの縮小・廃止。行事があれば、ボランティアにて対応

(3) ③ 小学校・学童保育等での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
学童保育や親の帰宅までの居場所の確保	・学童保育自体の数が少ない。学童保育の児童数に対して職員が少ない。 ・入所条件が厳しく、高学年になると鍵っ子にならざるを得ないが、犯罪に巻き込まれないか不安。 ・民間の学童保育は費用が高く、補助金もないため利用できない。 ・発達障害があると学童保育は利用しにくい。 ・親が帰宅するまで子を安全に待たせることができない。公園も昔と違って安全ではないので、高額な月謝を払い習い事をさせるしかない。 ・学童保育は延長の対応時間が短く、保育園からの落差に戸惑った。 ・役所等で情報収集できる保育園や幼稚園に比べると、民間を含め、学童保育の情報が少ない。 ・学童保育は長期休み中の朝が遅く、会社の始業に間に合わない。 ・長期休みに学童保育でお弁当注文があると便利。	・トワイライトスクール※
見守り当番の負担	・通学時の見守り当番を仕事がある親がやるのは厳しい。 ・通学時の危ない場所の見守り当番は、シルバー人材等に外注してほしい。 ・通学時に親の付き添いを求められることがあるが、GPSで到着の無事を確認できるようにしてほしい。	
その他	・教員の多忙さが話題になっているので、申し訳なくて些細なことは相談できない。 ・集金袋による現金の集金は、直ちにキャッシュレス対応すべきである。 ・入学前に近隣の在学児童を連絡児童に指定するよう指示があったが、そもそも近隣で誰が通っているのかを知らないし、入学前に確認する機会がない。 ・親がフォローする前提で出される宿題が負担に感じる。	・教育委員会が集金を一括管理 ・口座振替やオンライン決済による集金

※トワイライトスクールとは、放課後や土曜・長期休暇期間に小学校施設を活用して、子供を預かる事業。

(参考) 小学校・学童保育等に関わる困りごとへの取組事例

回答者から寄せられた工夫・アイデアとは別に、全国の自治体等で行っている取組事例を紹介

事例 制服のリユース

・目的や背景

近年、制服をはじめ学用品の購入が負担となっている家庭が増加している一方で、子供が大きくなって不要となった制服を活用してもらいたいという地域住民のニーズに応じて始められたサービス。

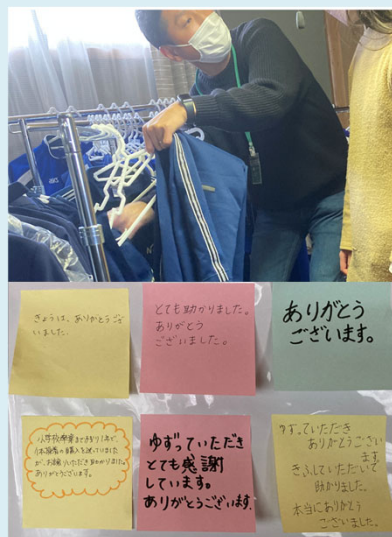
・取組の概要

子供が着用しなくなった制服や体操服を、サービス事業者が引き取り、必要としている方に販売もしくは無償で提供するリユースの仕組みである。引き渡し時には、在学者・在学予定者であることを確認するために学生証の提示等を求める等、提供者と購入者が安心できるような対策を講じている。



足利市くらしの会「制服リサイクルバンク」より
(足利市消費生活センターHP)

<https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/page/seifukubanku.html>



画像：NPO法人ミンナのチカラ提供

事例 GPS端末等による見守り

・目的や背景

保護者及び学校による、登下校時の児童の安全確認を目的に開始。児童が等しく所持することが可能なため、見守りサービスの需要が高まった。

・取組の概要

寝屋川市の事例では、市から小学1、2年生を対象に、GPS端末を無償で貸し出し、パソコンやスマートフォンで児童の位置情報を保護者が確認できるシステムとしている。他自治体の事業者によっては、子供の登下校時刻をリアルタイムでメール受信やICタグ紛失時の補償プラン等の有料サービスを設けているところもある。



画像：寝屋川市提供

Ⅲ－１．子育ての困りごと及び工夫・取組事例

(４) 習い事・課外教室等について

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| ① 習い事・課外教室等での困りごとの有無 | 4 2 p |
| ② 習い事・課外教室等での困りごとの概要 | 4 3 p |
| ③ 習い事・課外教室等での具体的な困りごと、工夫・アイディア | 4 4 p |

(4) ①習い事・課外教室等での困りごとの有無

- 習い事・課外教室等の困りごとが「ある（よくある、ときどきあるの合計）」と回答したのは30.5%で、該当しない人もいるため、6 場面で最も低い割合となっている。
- 『女性40歳代』（37.5%）や、働く時間が長いと予想される女性の『正規・役員』（39.4%）で高い。
- また、世帯年収が高いほど、「ある」と感じる割合も高い傾向となっている。

Ⅲ-1-(4)①-1.TOTAL	n=	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	(%)	ある 計	ない 計
習い事・課外教室等	2166	6.7	23.8	34.3	35.2		30.5	69.5

Ⅲ-1-(4)①-2.性年代別					Ⅲ-1-(4)①-3.性別・就労雇用形態別					Ⅲ-1-(4)①-4.世帯年収別				
	n=	よくある ときどきある	(%) ある 計		n=	よくある ときどきある	(%) ある 計		n=	よくある ときどきある	(%) ある 計			
TOTAL	2166	6.7 23.8	30.5	TOTAL	2166	6.7 23.8	30.5	TOTAL	2166	6.7 23.8	30.5			
男性 計	1057	5.3 22.8	28.1	男性 正規・役員	801	5.6 24.2	29.8	300万円未満	152	5.3 18.4	23.7			
男性20歳代	108	7.4 19.4	26.8	非正規	116	3.4 17.2	20.6	300～500万円未満	370	6.2 19.5	25.7			
男性30歳代	463	6.3 24.2	30.5	自営・自由業 (専門職含む)	63	6.3 30.2	36.5	500～700万円未満	458	5.2 24.5	29.7			
男性40歳代	486	3.9 22.2	26.1	無職	77	3.9 10.4	14.3	700～1000万円未満	394	8.9 27.7	36.6			
女性 計	1105	8.1 24.8	32.9	女性 正規・役員	435	9.7 29.7	39.4	1000万円以上	186	7.5 32.3	39.8			
女性20歳代	115	4.3 18.3	22.6	非正規	387	8.5 23.3	31.8							
女性30歳代	555	8.8 22.7	31.5	自営・自由業 (専門職含む)	65	7.7 20.0	27.7							
女性40歳代	435	8.3 29.2	37.5	無職	218	4.6 19.3	23.9							

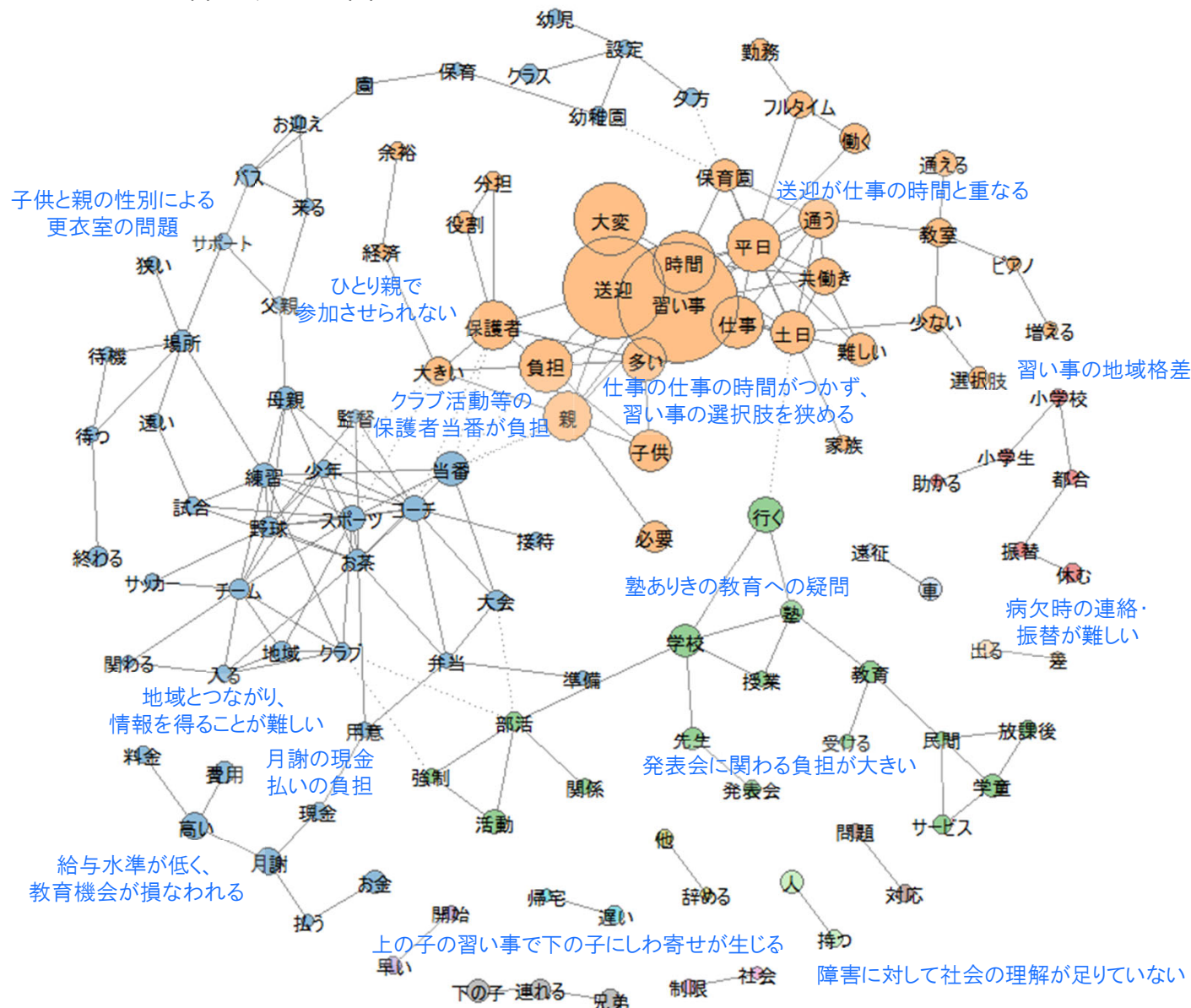
※世帯年収が「わからない・答えたくない」は省略（TOTAL値には含む）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q6 子育ての日々の対応で、やりづらくて負担を感じていること、変えられそうなのに変わっていないことはありますか。以下のそれぞれの場面の、決まり事や利用方法、仕組み等の例を参考に、あなたが経験している（した）こと、見聞きしたことで、最も近いものをお選びください: 習い事・課外教室等

(4) ②習い事・課外教室等での困りごとの概要

- 習い事・課外教室等の困りごととしては、送迎や平日の時間調整の難しさに関連した声が多い。



▼テキストマイニングとは

文章等の膨大なテキスト情報を単語（名詞、動詞等）に分解し、出現頻度や出現パターンの分析を行う方法。

▼表示のネットワーク図

自由回答から抽出した単語の出現パターンが似通ったものを線で結んだ図（共起ネットワーク）。ネットワーク分析の手法の中心性に基づいて単語を色分けしている。位置よりも線で結ばれているかどうかの意味があり、共起（出現が似通っているか）の程度が強いことを意味する。

色分け（グループ分け）

共起関係を自動的にグループ分け

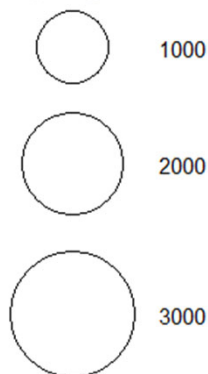
線 (エッジ)

共起の程度が強いほど太い線で表示
やや弱い共起関係は破線で表示

円（頻度）

出現数が多い語ほど円を大きく表示

Frequency:



「KH Coder」Webサイト
<https://khcoder.net/>より作成

※ テキストマイニングにより、出現パターンの似通った語のグループを可視化して意見を分類（テキストマイニングソフト「KH Coder」による結果）。

(4) ③習い事・課外教室等での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
送迎	・仕事があるため、平日の送迎ができない。習い事の選択肢も狭まる。 ・習い事の送迎にベビーシッター割引券が使えないのが不便。 ・地域に習い事の選択肢が少なく、遠方まで送迎が必要。	・送迎バス付の習い事や、リモートでの習い事 ・出張レッスンの利用
運営方法	・性別の異なる親子だと更衣室が異なるため、プール等は参加が難しい。多目的更衣室を設置してほしい。 ・障害のある子供だと、受け入れを断られることが多い。 ・月謝の支払いが毎月現金の手渡しで準備が手間。 ・欠席連絡、振替の予約をオンライン化してほしい。	
その他	・少年野球等で、父親はコーチ、母親はお茶出しや配車といった性別による分担がある。 ・ひとり親だと、保護者の負担が大きい習い事は厳しい。 ・発表会の衣装づくりが負担。発表会に出ずにレッスンを受講することが認められない。 ・地方だと習い事の選択肢が少なく、都市部だと定員オーバーであったり地域によって差がある。 ・塾や習い事に通わなくても済むような、充実した学校教育にしてほしい。	・スポーツクラブでの親の当番廃止、親の見学も不要に変更 ・通信教材

Ⅲ－１．子育ての困りごと及び工夫・取組事例

(５) 地 域 ・ 外 出 先 に つ い て

① 地域・外出先での困りごとの有無	4 6 p
② 地域・外出先での困りごとの概要	4 7 p
③ 地域・外出先での具体的な困りごと、工夫・アイデア	4 8 p
(参考) 地域・外出先に関わる困りごとへの取組事例	5 0 p

(5) ①地域・外出先での困りごとの有無

- 地域・外出先の困りごとが「ある（よくある、ときどきあるの合計）」と回答したのは52.5%で、6場面のうち最も高い割合となっている。
- 女性では約6割（60.6%）が「ある」と感じており、特に、就労雇用形態が『自営・自由業』（67.7%）、『正規・役員』（64.4%）の割合が高い。

Ⅲ-1-(5)①-1.TOTAL

	n=	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	(%)	ある 計	ない 計
地域・外出先	2166	10.7	41.8	33.5	14.0		52.5	47.5

Ⅲ-1-(5)①-2.性年代別

	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	10.7	41.8	52.5
男性 計	1057	8.6	35.7	44.3
男性20歳代	108	13.0	38.0	51.0
男性30歳代	463	7.6	40.8	48.4
男性40歳代	486	8.6	30.2	38.8
女性 計	1105	12.8	47.8	60.6
女性20歳代	115	18.3	41.7	60.0
女性30歳代	555	14.8	49.0	63.8
女性40歳代	435	8.7	47.8	56.5

Ⅲ-1-(5)①-3.性別・就労雇用形態別

	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	10.7	41.8	52.5
男性 正規・役員	801	8.4	34.2	42.6
非正規	116	9.5	40.5	50.0
自営・自由業 (専門職含む)	63	12.7	41.3	54.0
無職	77	6.5	39.0	45.5
女性 正規・役員	435	15.9	48.5	64.4
非正規	387	8.5	46.8	55.3
自営・自由業 (専門職含む)	65	12.3	55.4	67.7
無職	218	14.2	45.9	60.1

Ⅲ-1-(5)①-4.世帯年収別

	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	10.7	41.8	52.5
300万円未満	152	11.8	40.8	52.6
300～500万円未満	370	10.3	43.8	54.1
500～700万円未満	458	8.7	44.1	52.8
700～1000万円未満	394	13.5	40.1	53.6
1000万円以上	186	16.7	39.8	56.5

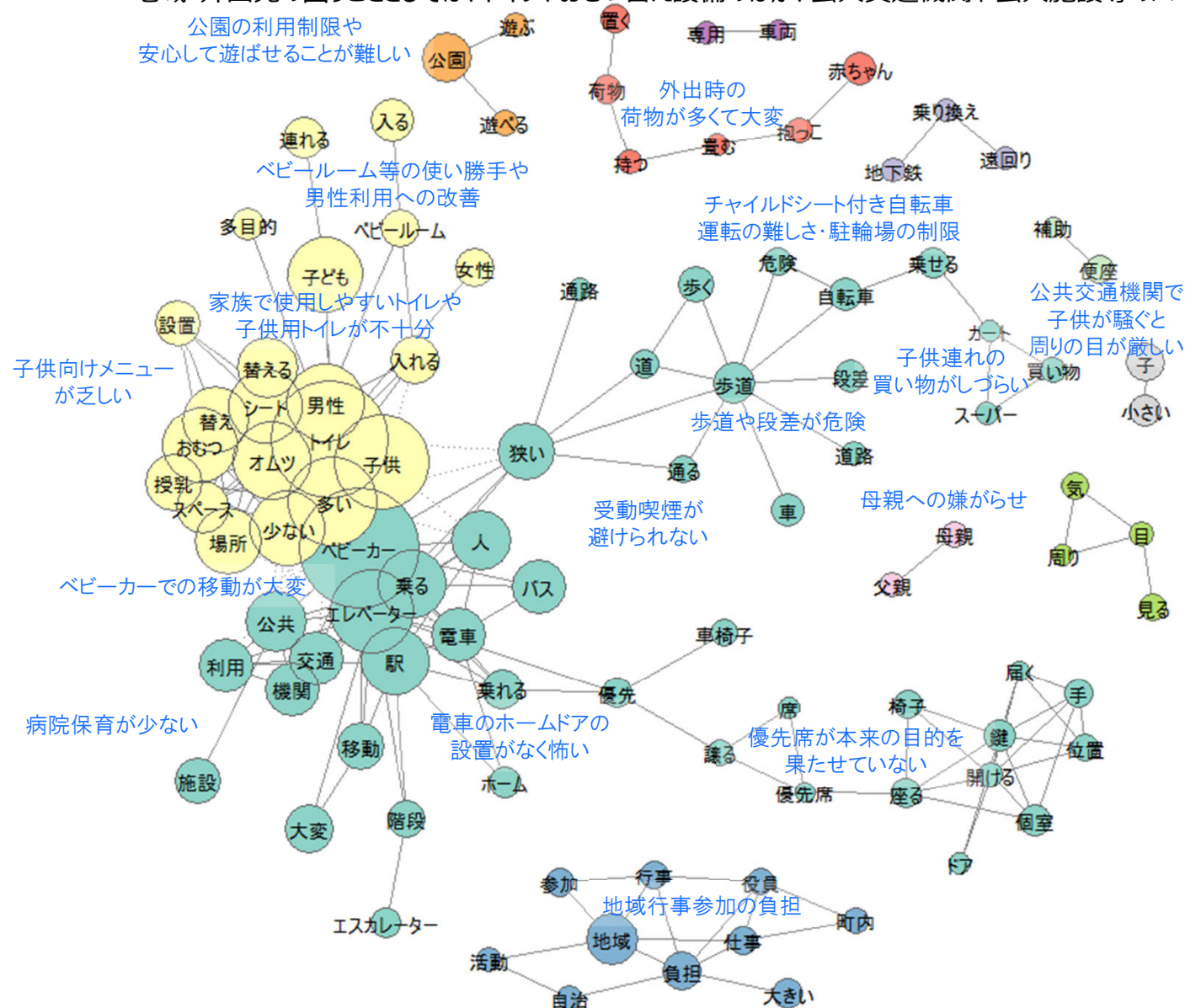
※世帯年収が「わからない・答えたくない」は省略（TOTAL値には含む）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q6 子育ての日々の対応で、やりづらくて負担を感じていること、変えられそうなのに変わっていないことはありますか。以下のそれぞれの場面の、決まり事や利用方法、仕組み等の例を参考に、あなたが経験している（した）こと、見聞きしたことで、最も近いものをお選びください。：地域・外出先

(5) ②地域・外出先での困りごとの概要

- 地域・外出先の困りごととしては、トイレ、おむつ替え設備のほか、公共交通機関や公共施設等のハード面に関連した声が多い。



▼テキストマイニングとは

文章等の膨大なテキスト情報を単語（名詞、動詞等）に分解し、出現頻度や出現パターンの分析を行う方法。

▼表示のネットワーク図

自由回答から抽出した単語の出現パターンが似通ったものを線で結んだ図（共起ネットワーク）。ネットワーク分析の手法の中心性に基づいて単語を色分けしている。位置よりも線で結ばれているかどうかの意味があり、共起（出現が似通っているか）の程度が強いことを意味する。

色分け（グループ分け）

共起関係を自動的にグループ分け

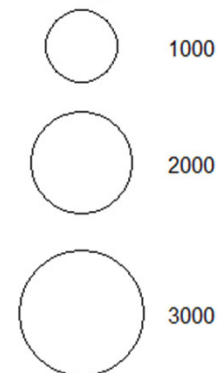
線（エッジ）

共起の程度が強いほど太い線で表示
やや弱い共起関係は破線で表示

円（頻度）

出現数が多い語ほど円を大きく表示

Frequency:



「KH Coder」Webサイト
<https://khcoder.net/>より作成

※ テキストマイニングにより、出現パターンの似通った語のグループを可視化して意見を分類（テキストマイニングソフト「KH Coder」による結果）。

(5) ③地域・外出先での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
子供を連れての移動	・エレベーターの数が少なく、ベビーカーでの移動が困難。 ・ベビーカーでは満員のエレベーターや電車に乗れず、何回も見送ることが多々ある。 ・駅や駐車場のエレベーターを待っていても高齢者が優先される。 ・歩道が狭かったり、段差も多く、危ないし移動しにくい。 ・車や自転車のベビーカーに対する安全面の認識が薄いと感じる。子供が手足や顔を急に出す可能性があるが、すぐ側をスピードを出して通り過ぎることがあり、接触の危険を感じる。 ・駅にホームドアがなく、子供を連れて行くのが怖い。	・優先エレベーターの側で従業員による誘導 ・鉄道会社による駅構内のエレベーター等の案内サイトの運用 ・子育て応援スペースを設けた車両運用
トイレ・公園・公共施設等	・公共施設、商業施設において、男性用トイレにおむつ替え台やベビーチェアがない。ベビールームに男性が入れない。子供用トイレや子供と一緒に入れるトイレの数が少ない。おむつ替え台やベビーチェアの設置は義務化してほしい。 ・遊べる場所が少なく、公園もキャッチボールや玉蹴り程度の遊びも禁止されている。 ・公園のトイレが汚かったり、除草がされていない等、管理が行き届いていない。 ・スーパー等でベビーカー置き場がない。ベビーシートがないカートだと買い物しづらい。 ・子供向けのメニューが少ない、離乳食の持ち込みを認めているレストランが少ない。	・内閣府及び各地方公共団体の「子育て支援パスポート事業」により、協賛店舗から乳幼児連れの外出サポートや各種割引・優待サービス※の提供 ・見守り専門の大人が配置された遊び場（プレーパーク）

※粉ミルクのお湯の提供・おむつ替えや授乳スペースの提供・ベビーカー店内利用・低アレルギーメニュー・割引 等

(5) ③地域・外出先での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
周囲の理解	・電車等の公共の場で子供が泣くと嫌な目でみられたり子育てに対する理解がない。 ・幼い子供を連れていても優先座席を譲ってくれない。 ・幼い子供を連れた女性を狙った痴漢や、暴言を吐く人がいる。 ・通勤ラッシュの時間帯は子供連れで移動できる環境ではない。子供連れは非常識という雰囲気があり、周囲の乗客の理解も感じられない。	・子育て応援スペースを設けた車両運用
その他	・夏祭り、廃品回収等の強制参加の地域行事が負担。 ・母親は子供会、父親は自治会と性別で役割が決められてしまう。 ・歩きタバコが多く、子供が受動喫煙してしまう。 ・チャイルドシート付き自転車不可の駐輪場がある。 ・親の通院時、子供を預けなければいけないのが大変。乳幼児を連れていくこと自体できないところもある。託児可能な病院はほとんど無い。	

(参考) 地域・外出先に関わる困りごとへの取組事例

回答者から寄せられた工夫・アイデアとは別に、全国の自治体等で行っている取組事例を紹介

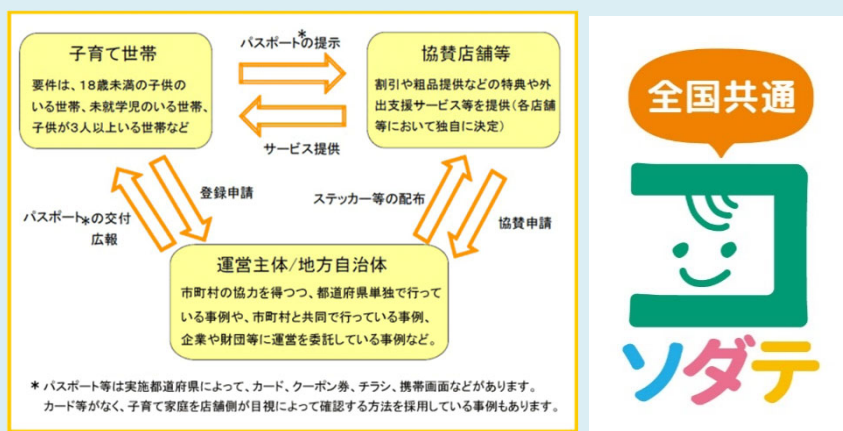
事例 子育て支援パスポート事業（内閣府）

・目的や背景

子育て世帯への経済的負担の軽減や、社会全体で子育て家庭を支えるという機運の醸成を図ることを目的とする。

・取組の概要

地方自治体が地域の企業・店舗に働きかけ、協賛を得た企業・店舗において子育て世帯に対して各種割引・優待サービスや乳幼児連れの外出支援・応援サービス等を提供する。地方自治体では子育て世帯にパスポートを発行し、利用者は店頭で提示することによってサービスを受けられる。サービスの例として、粉ミルクのお湯の提供や、おむつ替え・授乳スペースの提供等がある。全国の自治体で実施されている。



内閣府「子育て支援パスポート事業」より
https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/passport/pass_tenkai.html

事例 おむつ交換台・授乳室等のマップ「赤ちゃんの駅」

・目的や背景

2006年に東京都板橋区が始めた活動をきっかけに全国へ広がった。子育て中のお母さんが子供と一緒に気軽に外出できる環境をつくることを目的としている。

・取組の概要

おむつ替えや授乳等を気軽に行える場所を「赤ちゃんの駅」として指定し、提供するサービスである。乳幼児親子が利用しやすい公共機関や民間施設等に対して、自治体が協力を依頼し、登録を行う。一部登録施設では、「赤ちゃんの駅」と記載されたステッカーやのぼりを、利用者の目につく場所に設置しているほか、登録施設は自治体のウェブサイト、チラシ等で確認できる。



画像：埼玉県提供



画像：東京都板橋区提供



画像：千葉市提供

北九州市「シンボルマークの共通使用について（他自治体のご担当者様へ）」より
https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ko-katei/file_0003.html

Ⅲ－１．子育ての困りごと及び工夫・取組事例

(6) 家庭 (炊事・洗濯・掃除等) について

① 家庭 (炊事・洗濯・掃除等) での困りごとの有無	5 2 p
② 家庭 (炊事・洗濯・掃除等) での困りごとの概要	5 3 p
③ 家庭 (炊事・洗濯・掃除等) での具体的な困りごと、工夫・アイデア	5 4 p
(参考) 家庭 (炊事・洗濯・掃除等) に関わる困りごとへの取組事例	5 5 p

(6) ①家庭(炊事・洗濯・掃除等)での困りごとの有無

- 家庭(炊事・洗濯・掃除等)等の困りごとが「ある(よくある、ときどきあるの合計)」と回答したのは49.2%で、6場面のうち2番目に高い割合となっている。
- 女性では約6割(58.4%)が「ある」と感じており、特に、就労雇用形態が『正規・役員』(63.2%)の割合が高い。
- 世帯年収が高いほど、「ある」と感じる割合も高い傾向となっている。

Ⅲ-1-(6)①-1.TOTAL

	n=	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	(%)	ある 計	ない 計
家庭(炊事・洗濯・掃除等)	2166	12.5	36.7	31.6	19.2		49.2	50.8

Ⅲ-1-(6)①-2.性年代別

	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	12.5	36.7	49.2
男性 計	1057	7.9	31.9	39.8
男性20歳代	108	16.7	30.6	47.3
男性30歳代	463	8.9	35.2	44.1
男性40歳代	486	4.9	29.0	33.9
女性 計	1105	17.0	41.4	58.4
女性20歳代	115	19.1	35.7	54.8
女性30歳代	555	19.3	39.6	58.9
女性40歳代	435	13.6	45.1	58.7

Ⅲ-1-(6)①-3.性別・就労雇用形態別

	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	12.5	36.7	49.2
男性 正規・役員	801	8.2	32.6	40.8
非正規	116	7.8	30.2	38.0
自営・自由業 (専門職含む)	63	7.9	38.1	46.0
無職	77	3.9	22.1	26.0
女性 正規・役員	435	19.5	43.7	63.2
非正規	387	14.2	41.3	55.5
自営・自由業 (専門職含む)	65	15.4	36.9	52.3
無職	218	17.4	38.1	55.5

Ⅲ-1-(6)①-4.世帯年収別

	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	12.5	36.7	49.2
300万円未満	152	11.8	30.3	42.1
300～500万円未満	370	15.1	31.6	46.7
500～700万円未満	458	11.8	39.7	51.5
700～1000万円未満	394	12.2	45.7	57.9
1000万円以上	186	18.8	39.8	58.6

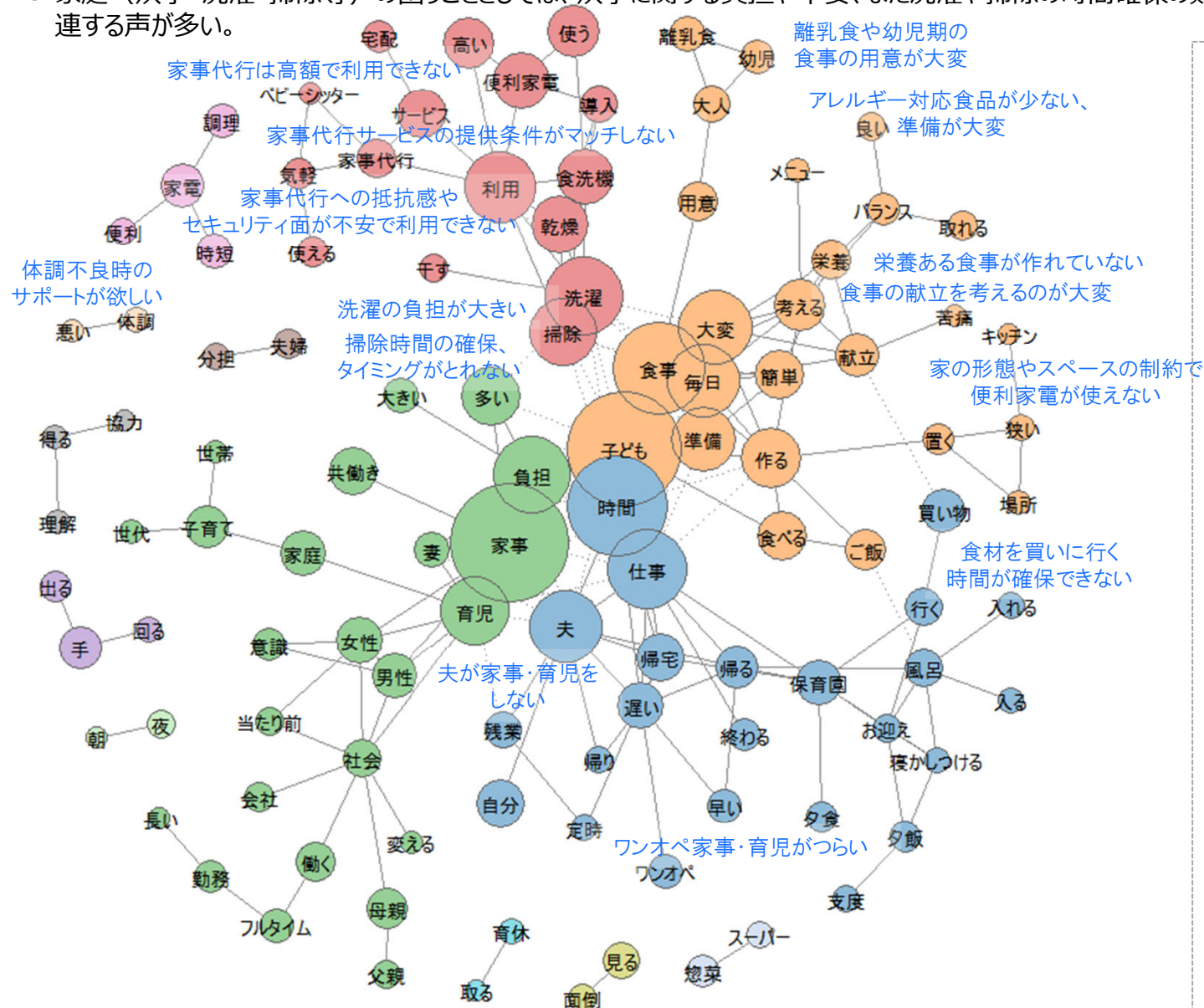
※世帯年収が「わからない・答えたくない」は省略(TOTAL値には含む)

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略(TOTAL値には含む)

Q6 子育ての日々の対応で、やりづらくて負担を感じていること、変えられそうなのに変わっていないことはありますか。以下のそれぞれの場面の、決まり事や利用方法、仕組み等の例を参考に、あなたが経験している(した)こと、見聞きしたことで、最も近いものをお選びください。:家庭(炊事・洗濯・掃除等)

(6) ②家庭（炊事・洗濯・掃除等）での困りごとの概要

- 家庭（炊事・洗濯・掃除等）の困りごととしては、炊事に関する負担や不安、また洗濯や掃除の時間確保の難しさ、家庭内の分担に関連する声が多い。



▼テキストマイニングとは

文章等の膨大なテキスト情報を単語（名詞、動詞等）に分解し、出現頻度や出現パターンの分析を行う方法。

▼表示のネットワーク図

自由回答から抽出した単語の出現パターンが似通ったものを線で結んだ図（共起ネットワーク）。ネットワーク分析の手法の中心性に基づいて単語を色分けしている。位置よりも線で結ばれているかどうかの意味があり、共起（出現が似通っているか）の程度が強いことを意味する。

色分け（グループ分け）

共起関係を自動的にグループ分け

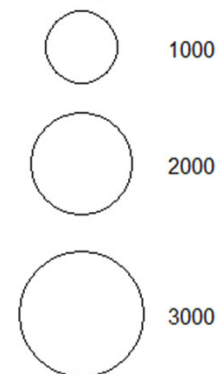
線（エッジ）

共起の程度が強いほど太い線で表示
やや弱い共起関係は破線で表示

円（頻度）

出現数が多い語ほど円を大きく表示

Frequency:



「KH Coder」Webサイト
<https://khcoder.net/>より作成

(6) ③家庭 (炊事・洗濯・掃除等) での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
炊事の負担	・離乳食の手作り神話をやめてほしい。 ・小さい子供向けの冷凍・レトルト食品が増えてほしい。 ・食材を買いに行く時間がない。 ・毎日献立を考え、一から栄養バランスの取れた食事を考えるのは限界がある。 ・アレルギーに配慮して食事をつくるのは大変、市販のものはほとんど食べられない。アレルギー対応のミールキットや惣菜が増えてほしい。	・献立アプリの利用 ・ネットスーパーの利用 ・ミールキットの宅配利用 ・配食サービス
洗濯・掃除の負担	・子供の世話をしながら洗濯、乾燥、たたむのが大変。 ・仕事と育児で掃除まで手が回らない。掃除機は子供が寝ているときにはかけられない。	・乾燥機付き洗濯機 ・ロボット掃除機 ・ハウスクリーニング
家庭内の分担	・夫の理解がなく、家事や育児をしない。 ・日本の男性が変われば、ほとんどの家庭の困りごとは解決する。 ・まだまだ女性が家事をやるものという意識が根付いている。 ・夫と協力して家事を行っているが、夫の仕事で帰りが遅い場合は自分がするしかないの で、結果としてワンオペ状態になっている。 ・体調不良になった時に頼れる先がない、サポートがない。 ・地域の同世代の子供を抱える親子と一緒に食事をし、お風呂まで済ませられる様な施設があると大変助かる。	・家事代行サービス
家事代行サービス	・家事代行サービスは高額で日常的には使えない。充実しているのは都心中心で、田舎はまだ普及していない。 ・家事代行を頼みたいが、家に知らない人をあげることに抵抗があり諦めた。 ・シルバーサポートセンターに家事代行を頼もうとしたが、電話対応・サポートに来る日程も平日の日中のみの対応（サポート時は在宅していなければならない）なので不便。	・子育て世帯の家事育児に特化した人材派遣サービスへの自治体による補助・クーポン等
その他	・便利家電を使いたい、置くスペースがない物件が多かったり、アンペア数の制限により使えない。	

事例 子育てヘルパー派遣

妊娠期や就学前児童のいる家庭にヘルパーを派遣し、家事や育児の支援を行うことで保護者の精神的・肉体的負担の軽減を図り、安心して育児や日常生活を営めるようにするとともに、子育ての自立に向け支援することを目的としたサービス。

市区町村が任意団体に委託して、ヘルパーを派遣するサービスである。乳児のおむつ交換、食事の準備や後片付け、衣類の洗濯、居室の掃除及び整理整頓、育児相談等のサービスを行っている。利用料・利用時間は自治体により異なるが、低額でサービスを受けることができる。



ぴよぴよサポート

大田区産後家事・育児援助事業のご案内

ご自宅にぴよサポート員が訪問し、家事・育児のお手伝いをします。

【対象者】 大田区に在住で、産後ケアサービス利用していない2歳まで（15歳未満）の子どもがいらっしゃるお母さま育育中の皆様

【対象期間】 対象児が1歳9か月～2歳未満の間です。大田区のホームページでご確認ください

【対象時間】 対象児1人1人につき年間18時間（お母さま1人につき18時間）を上限とし、1時間単位でご利用いただけます。

【対象地域】 区内全域（大田区立の児童館・子育て支援センターを除く）

【利用料】 自己負担なし。1時間あたり1,000円（ヘルパー1人1時間利用1時間分とする）
※利用料は利用開始前までに必ずお支払いください。お支払いが滞りますとサービスが中止となります。お支払いが滞り、お支払いが完了するまで、お支払いが完了した月の翌月までサービスが中止となります。

【お問い合わせ先】 ご利用がはじめる4ヶ月前まで、自己負担なしヘルパーにお申し込みください
お申し込みは、お電話またはお申し込み用紙にて



ぴよサポート

申請はこちら

▶ 大田区の
ホームページ
から



お問い合わせ先

【事業実施】 申請受付
大田区子育て家庭支援センター 相談窓口（遠隔受付）
TEL 03-6410-8551
FAX 03-7810-0198

（ヘルパーさん募集）大田区子育て家庭支援センターのボランティアさん

TEL 03-6410-8551

FAX 03-7810-0198

東京都大田区「大田区産後家事・育児援助事業チラシ」より
https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/kodomo/shien/sango_enjo.files/tirasizennbureisan.pdf

(参考) 家庭(炊事・洗濯・掃除等)に関わる困りごとへの取組事例

回答者から寄せられた工夫・アイデアとは別に、全国の自治体等で行っている取組事例を紹介

事例 子育て支援サービス利用時の割引券、クーポン等

・目的や背景

子育て支援サービスを利用する際、割引を受けられるクーポン券等を交付することで、子育ての経済的負担を軽減するほか、支援サービスの利用により、親の身体的負担の軽減及びリフレッシュを目的としている。

・取組の概要

産前産後や乳幼児期など、自治体等が指定した子育て支援サービスを受ける際に、利用できる割引券。家事援助や育児支援のほか、外出時に就学前の子供を一時預かりする際に利用できる自治体もある。

また、「企業主導型内閣府ベビーシッター利用支援事業」の承認事業主となっている企業が、従業員に配布できる「内閣府ベビーシッター割引券」もある(1日利用券の提供や児童1人につき固定金額の支給等)。



東松山市「東松山市リフレッシュチケット」より

<http://www.city.higashimatsuyama.lg.jp/iju/sodatetai/kosodate/ticket.html#a2>



大分県「おおいた子育てほっとクーポン(令和3年度発行)」より

<https://www.pref.oita.jp/site/hot-coupon/>

事例 産後家庭への配食サービス

・目的や背景

産後間もない家庭へ栄養バランスのとれた食事を届けることで、産後の見守りを行いつつ、産婦の健康を保ち、また新生児の育児に専念できるよう家事の負担を軽減することを目的としている。

・取組の概要

産後の一定期間に、栄養士の献立等に基づくバランスの取れた食事を指定の配食事業者が配達するサービス。同時に、声かけを通じて産後の見守りを行う。対面で受け取りをしなくて済む置き配や、同居家族の利用、出産前からの申請が可能な場合がある。自治体によってはチケットや利用券が発行され、補助が受けられる。



日野市「産後家庭向け配食サービス」より

<https://www.city.hino.lg.jp/kosodate/shien/1016922/index.html>



鎌倉市「広報かまくら 令和4年1月号」より

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kouhou/kamakura/21/documents/220101-0.pdf>

Ⅲ－１．子育ての困りごと及び工夫・取組事例

(7) その他行事等について

① その他行事等での困りごとの有無	58p
② その他行事等での困りごとの概要	59p
③ その他行事等での具体的な困りごと、工夫・アイデア	60p
(参考) その他行事等に関わる困りごとへの取組事例	62p

(7) ① その他行事等での困りごとの有無

- その他行事等の困りごとが「ある（よくある、ときどきあるの合計）」と回答したのは42.3%となっている。
- 『女性30歳代』（51.6%）や、就労雇用形態では女性の『正規・役員』（53.1%）の割合が高い。

Ⅲ-1-(7)①-1.TOTAL

	n=	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	(%)	ある 計	ない 計
その他行事等	2166	7.6	34.7	39.0	18.7		42.3	57.7

Ⅲ-1-(7)①-2.性年代別

	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	7.6	34.7	42.3
男性 計	1057	4.8	30.5	35.3
男性20歳代	108	7.4	33.3	40.7
男性30歳代	463	5.4	33.9	39.3
男性40歳代	486	3.7	26.5	30.2
女性 計	1105	10.3	38.9	49.2
女性20歳代	115	7.8	39.1	46.9
女性30歳代	555	13.0	38.6	51.6
女性40歳代	435	7.6	39.3	46.9

Ⅲ-1-(7)①-3.性別・就労雇用形態別

	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	7.6	34.7	42.3
男性 正規・役員	801	4.7	30.7	35.4
非正規	116	4.3	27.6	31.9
自営・自由業 (専門職含む)	63	11.1	36.5	47.6
無職	77	1.3	27.3	28.6
女性 正規・役員	435	12.6	40.5	53.1
非正規	387	9.0	38.5	47.5
自営・自由業 (専門職含む)	65	10.8	36.9	47.7
無職	218	7.8	37.2	45.0

Ⅲ-1-(7)①-4.世帯年収別

	n=	よくある	ときどきある	(%) ある 計
TOTAL	2166	7.6	34.7	42.3
300万円未満	152	9.9	30.3	40.2
300～500万円未満	370	8.6	32.4	41.0
500～700万円未満	458	5.5	37.1	42.6
700～1000万円未満	394	8.4	39.1	47.5
1000万円以上	186	10.8	36.6	47.4

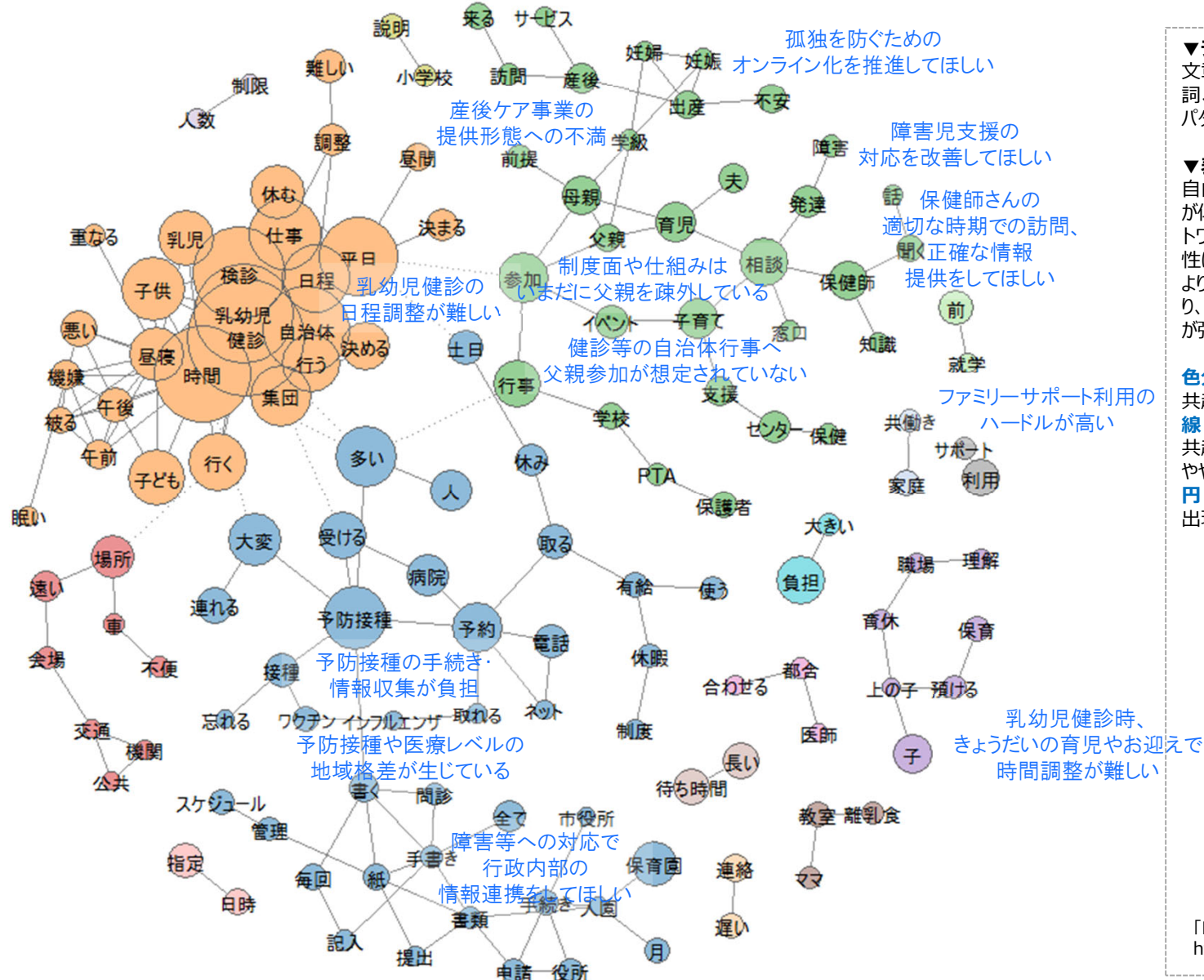
※世帯年収が「わからない・答えたくない」は省略（TOTAL値には含む）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q6 子育ての日々の対応で、やりづらくて負担を感じていること、変えられそうなのに変わっていないことはありますか。以下のそれぞれの場面の、決まり事や利用方法、仕組み等の例を参考に、あなたが経験している（した）こと、見聞きしたことで、最も近いものをお選びください。：その他行事等

(7) ②その他行事等での困りごとの概要

- その他行事等の困りごととしては、子供の検診や予防接種等、行政サービスに関連する声が多い。



▼テキストマイニングとは

文章等の膨大なテキスト情報を単語（名詞、動詞等）に分解し、出現頻度や出現パターンの分析を行う方法。

▼表示のネットワーク図

自由回答から抽出した単語の出現パターンが似通ったものを線で結んだ図（共起ネットワーク）。ネットワーク分析の手法の中心性に基づいて単語を色分けしている。位置よりも線で結ばれているかどうかの意味があり、共起（出現が似通っているか）の程度が強いことを意味する。

色分け（グループ分け）

共起関係を自動的にグループ分け

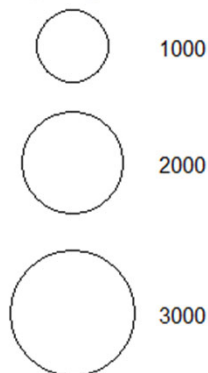
線（エッジ）

共起の程度が強いほど太い線で表示
やや弱い共起関係は破線で表示

円 (頻度)

出現数が多い語ほど円を大きく表示

Frequency:



「KH Coder」Webサイト
<https://khcoder.net/>より作成

※ テキストマイニングにより、出現パターンの似通った語のグループを可視化して意見を分類（テキストマイニングソフト「KH Coder」による結果）。

(7) ③ その他行事等での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
乳幼児健診・予防接種の手続き	・乳幼児健診の日程が、平日に固定されていて変更ができなかった。 ・問診票に住所、氏名、保護者氏名、連絡先、出生体重、過去の接種日等、同じ内容を何度も書かなければならない。 ・オンラインで手続きできるようにしてほしい。	・健康診断の記録、予防接種スケジュール管理ができる子育て支援情報アプリの利用
障害児支援	・障害を持つ子供への対応で役所、病院、保育園等で毎回同じ内容を聞かれる。連携してほしい。 ・医療費の助成に所得制限があり、金銭的な負担が重い。	・障害児支援のシステム化
父親の疎外感	・健診日が平日であったり、専業主婦が家庭にいることが前提で、父親の参加が想定されていない。 ・お便りの宛先が「お母さんへ」となっている等、父親の育児参加を求める割に、世の中の仕組みや制度、慣習が旧態依然のまま。	

(7) ③ その他行事等での具体的な困りごと、工夫・アイデア

カテゴリー	具体的意見	工夫・アイデア等
子育て世帯へのサポート	・同じ自治体の産後ケアでも内容によって申請方法等が違う。体系化されていない。 ・コロナ禍で育児中の母親は孤独を感じる。オンライン相談窓口やイベントの充実を図ってほしい。 ・ファミリーサポート※1 登録までの手続きが複雑。説明会や利用の予約がオンラインでできるようにしてほしい。 ・産後の肥立ちが良くなかったが、サポートしてくれる制度はなかった。幸い親に手伝ってもらえたが、毎日つらい日々だった。 ・母子別で安心して泊まれるホテル等、産後ケアを充実させてほしい。 ・産前で身体が重くても、家事や上の子供の育児等やることが多い。夫は仕事のため家庭を助けてくれず、出産までに心身ともに疲れてしまう。	・児童館によるリモートでの親子イベント、育児相談会 ・自治体による産後ケアサービス（クーポン配布） ・産前産後のケアサービス
その他	・同じ医療レベル（NICU※2あり、無痛分娩あり、LDR※3あり）でも地域による金額差が大きく、子育てのスタート地点から金銭的に重い負担を感じる。	

※1 ファミリーサポートとは、育児の支援を受けたい地域住民（依頼会員）と、支援したい地域住民（提供会員）が、助け合って子育て支援を行う行政サービス。

※2 新生児特定集中治療室(Neonatal Intensive Care Unit)の略語。何らかの疾患のある新生児を集中的に管理・治療する集中治療室。

※3 陣痛（Labor）、分娩（Delivery）、回復（Recovery）の頭文字をとった略語。陣痛から回復までを一つの個室で行う出産システム。

(参考) 行政サービス等に関わる困りごとへの取組事例

回答者から寄せられた工夫・アイデアとは別に、全国の自治体等で行っている取組事例を紹介

事例 アプリによる予防接種、母子手帳

・目的や背景

子育て情報を一括で管理したい、母子手帳、予防接種のスケジュール等、紙媒体ではなくスマートフォンで管理したいという保護者の要望があった。

・取組の概要

子育て支援情報アプリをスマートフォンにダウンロードすることで、子育て情報の提供、健康診断の記録、予防接種のスケジュール管理、相談窓口の紹介等のサービスを行っている。自治体で導入が進んでいるが、民間事業者が運営しているアプリもある。自治体の場合は、アプリのダウンロードは無償であるが、通信費は利用者負担となる。民間事業者の場合は、アプリのダウンロードが有料のものもある。



松阪市「まつさか子育てアプリ【まつぷり】配信中！」より
<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/health-haruru/matsupuri.html>

事例 父親・祖父母向け子育て学級

・目的や背景

母親だけではなく、父親や祖父母世代も含めた家族で子育て生活を楽しむために、子育てに必要なマインドやスキル、知識を学ぶことを目的とした講座。

・取組の概要

沐浴体験、妊婦ジャケット体験、講義やグループワーク、また、パパ友・ママ友などのネットワークづくりのために連続して講座が開催されることが多い。父親や共働き家庭でも参加できるように土日や平日夜間に開催される講座や、家にいながらでも参加できるオンラインでの講座もあつたりと、実施内容は自治体によってさまざまな形で展開されている。



山形県高島町「ふぁみりー学級
(両親学級・祖父母学級)」より
<https://www.town.takahata.yamagata.jp/soshikiichiran/kenkochojuka/2/ninnsin/2410.html>



福島市「オンラインプレママ&プレパパ教室を開催します！」より
<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/kodomokatei-boshi/kosodate/ninshin/ninshin/onlinenpuremama.html>

(参考) 行政サービス等に関わる困りごとへの取組事例

回答者から寄せられた工夫・アイデアとは別に、全国の自治体等で行っている取組事例を紹介

事例 オンラインの相談窓口等

・目的や背景

子育ての悩み、子供の成長について気軽に相談したいが相談窓口がわからない、出かけるのが難しいという現状を受け、設置された。

・取組の概要

チャットによる健康相談、授乳や離乳食、お風呂等の子育ての悩みをオンライン相談できるサービスがあるほか、育児を行う父親同士が交流・相談できるSNS等もある。

オンラインで子育て広場を運営し、地域に関わらず全国からアクセス可能で、子育て中の保護者が気軽に相互交流でき、悩みや不安を相談できる場を提供している事業者もある。



母子衛生研究会
「オンライン母子保健相談室」より
https://www.mcfh.or.jp/soudanshitsu/online_soudanshitsu.html



オンライン子育てひろば協会
「ママこべる」より
<https://mamacopel.org/>

事例 産前産後のケア

・目的や背景

家族からの援助を受けることが難しく、育児や家事を必要とする方、産後の回復や育児に不安がある方を対象にサポートすることを目的としている。

・取組の概要

専門家による訪問型のほか、自治体によっては医療機関等に通うデイサービスや宿泊できるものがある。主に、お母さんの体調管理や授乳・沐浴等の育児指導、健康相談等を受けることができる。保護者の不安や悩みを共有できるプログラムや健康教室（有料）を紹介している場合もある。

山梨県の場合、産前産後ケアセンターが産婦向けの宿泊サービスと併せて、妊婦向けの宿泊型サービスを実施しており、助産師等によるケアや指導を受けることができる。

相模原市の場合、産後ケア中心で、助産師等による自宅への訪問や、医療機関・助産院への宿泊・通所によりケアや指導を受けることができる。



山梨県「産前産後ケア事業」より
<https://www.pref.yamanashi.jp/kosodate/sanzensango/sangocarecenter.html>



相模原市「産後ケア事業チラシ」より
https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page/01/021/109/tirasi_2022.pdf

Ⅲ－２．家事・育児時間や 家庭での分担状況

Ⅲ－２．家事・育児時間や家庭での分担状況

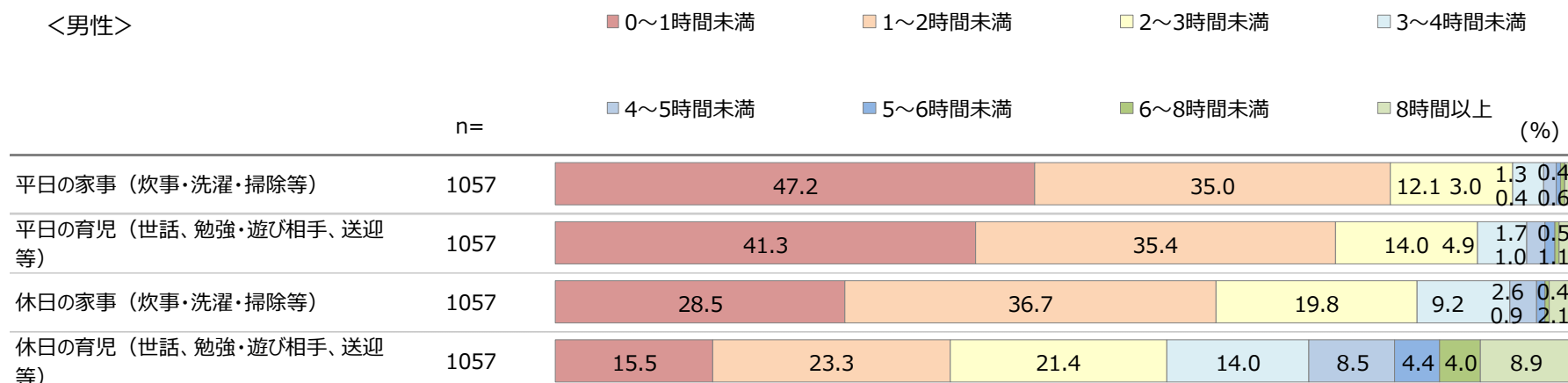
(１) 平日休日の家事時間・育児時間

① 平日休日の家事時間・育児時間	6 6 p
② 平日の家事時間	6 7 p
③ 平日の育児時間	6 9 p
④ 休日の家事時間	7 1 p
⑤ 休日の育児時間	7 3 p

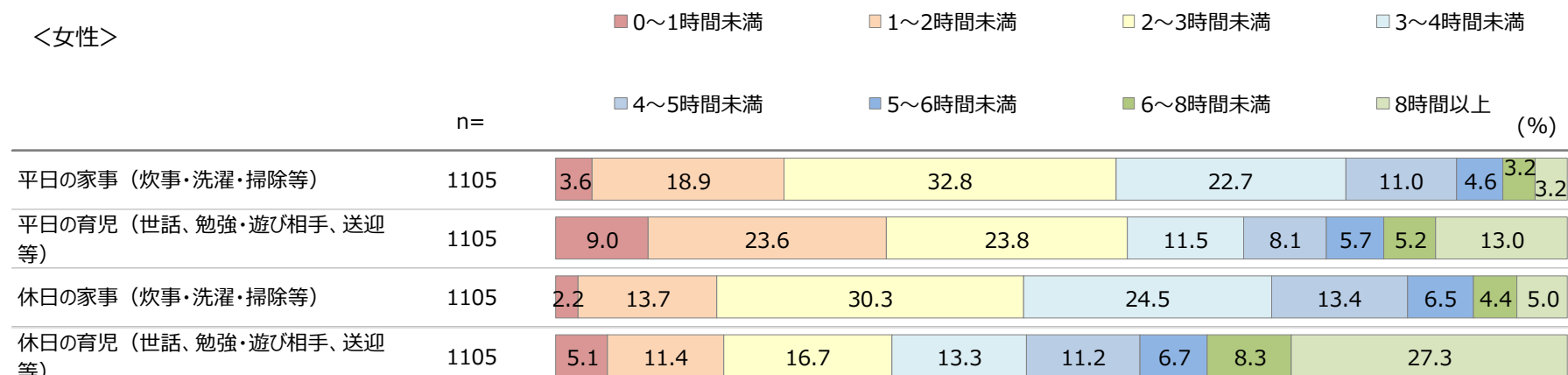
(1) ① 平日休日の家事時間・育児時間

- 家事や育児に費やすおよその時間数は、平日、休日ともに男性が短く、女性が長い傾向がある。

<男性>



<女性>



※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略

Q5 家事や育児について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。平日と休日の「家事」「育児」それぞれについてお答えください。

(1) ②平日の家事時間

- 平日の家事時間は、「1～2時間未満」が最も多く、26.8%。「0～1時間未満」(25.0%)、「2～3時間未満」(22.6%)が続く。
- 性別でみると、男女の差が大きく、男性では2時間以上が約2割(17.8%)であるのに対し、女性では2時間以上が約8割(77.5%)となっている。

Ⅲ-2-(1)②-1.性年代別

	n=	0～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～8時間未満	8時間以上	(%)
TOTAL	2166	25.0	26.8	22.6	13.1	6.3	2.5	1.8	1.9	
男性 計	1057	47.2	35.0	12.1	3.0	1.3	0.4	0.4	0.6	
男性20歳代	108	32.4	43.5	15.7	4.6	3.7	0.0	0.0	0.0	
男性30歳代	463	44.5	37.4	13.4	2.2	1.3	0.2	0.4	0.6	
男性40歳代	486	53.1	30.9	10.1	3.5	0.8	0.6	0.4	0.6	
女性 計	1105	3.6	18.9	32.8	22.7	11.0	4.6	3.2	3.2	
女性20歳代	115	7.0	16.5	31.3	24.3	9.6	5.2	2.6	3.5	
女性30歳代	555	3.6	20.0	33.9	22.9	8.8	5.4	2.3	3.1	
女性40歳代	435	2.8	18.2	31.7	22.1	14.3	3.4	4.4	3.2	

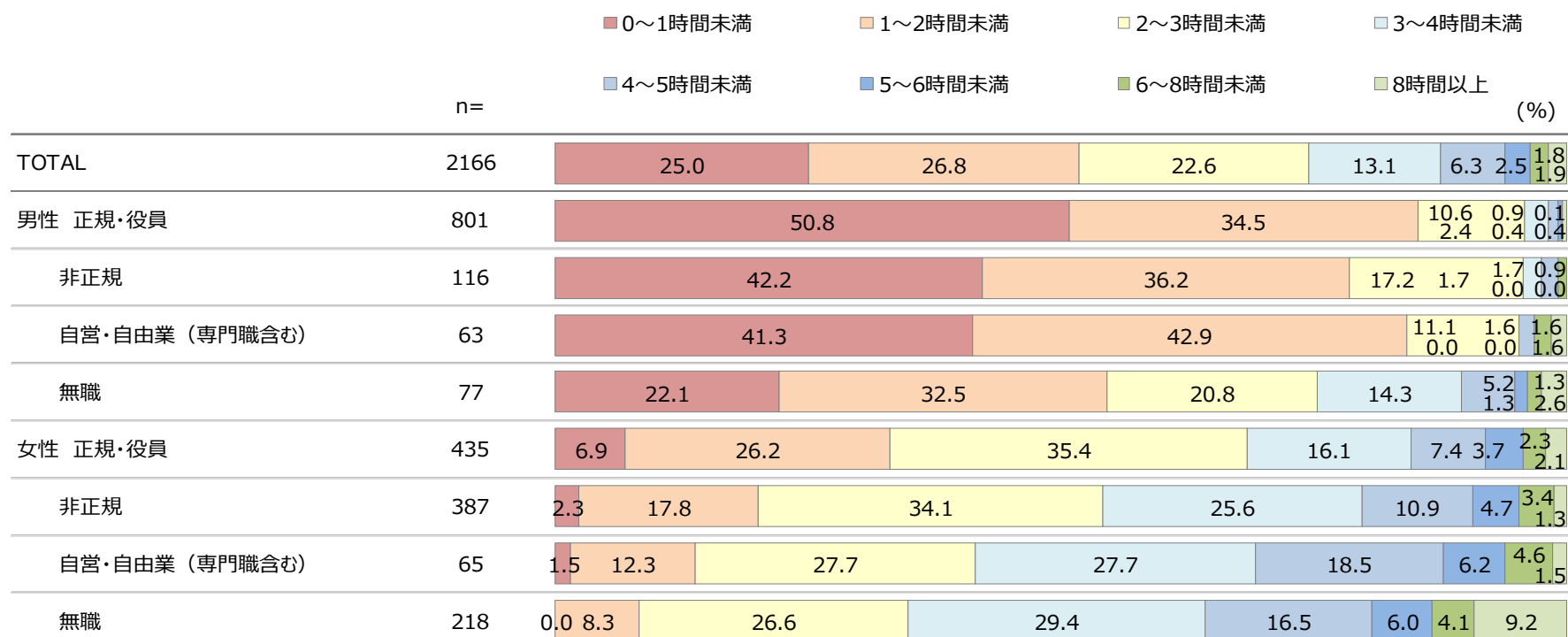
※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q5 家事や育児について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。平日と休日の「家事」「育児」それぞれについてお答えください。:平日の家事（炊事・洗濯・掃除等）

(1) ②平日の家事時間

- 性別・就労雇用形態別にみると、男性では『無職』を除く全ての就労雇用形態において、2時間以上が約2割となっているのに対し、女性の中では『正規・役員』が最も家事時間が短い、それでも2時間以上が約7割（67.0%）を占める。

Ⅲ-2-(1)②-2.性別・就労雇用形態別



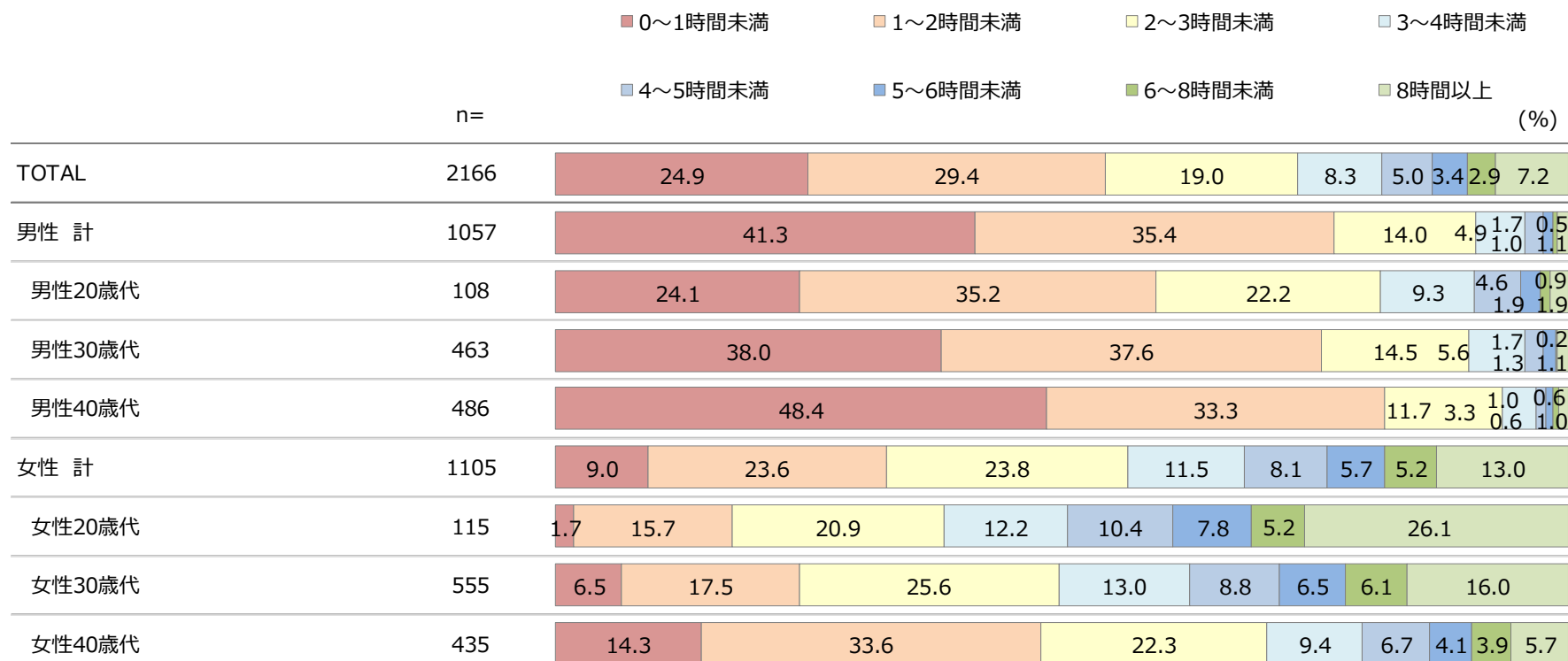
※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q5 家事や育児について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。平日と休日の「家事」「育児」それぞれについてお答えください。：平日の家事（炊事・洗濯・掃除等）

(1) ③平日の育児時間

- 平日の育児時間は、「1～2時間未満」が最も多く、29.4%。「0～1時間未満」(24.9%)、「2～3時間未満」(19.0%)が続く。
- 性年代別にみると、男女とも年齢が若いほど時間は長くなる傾向となっているが、家事同様に男女の差が大きい。特に『男性20歳代』では2時間以上が約4割(40.8%)となっているのに対し、『女性20歳代』では2時間以上が約8割(82.6%)となっている。

Ⅲ-2-(1)③-1.性年代別



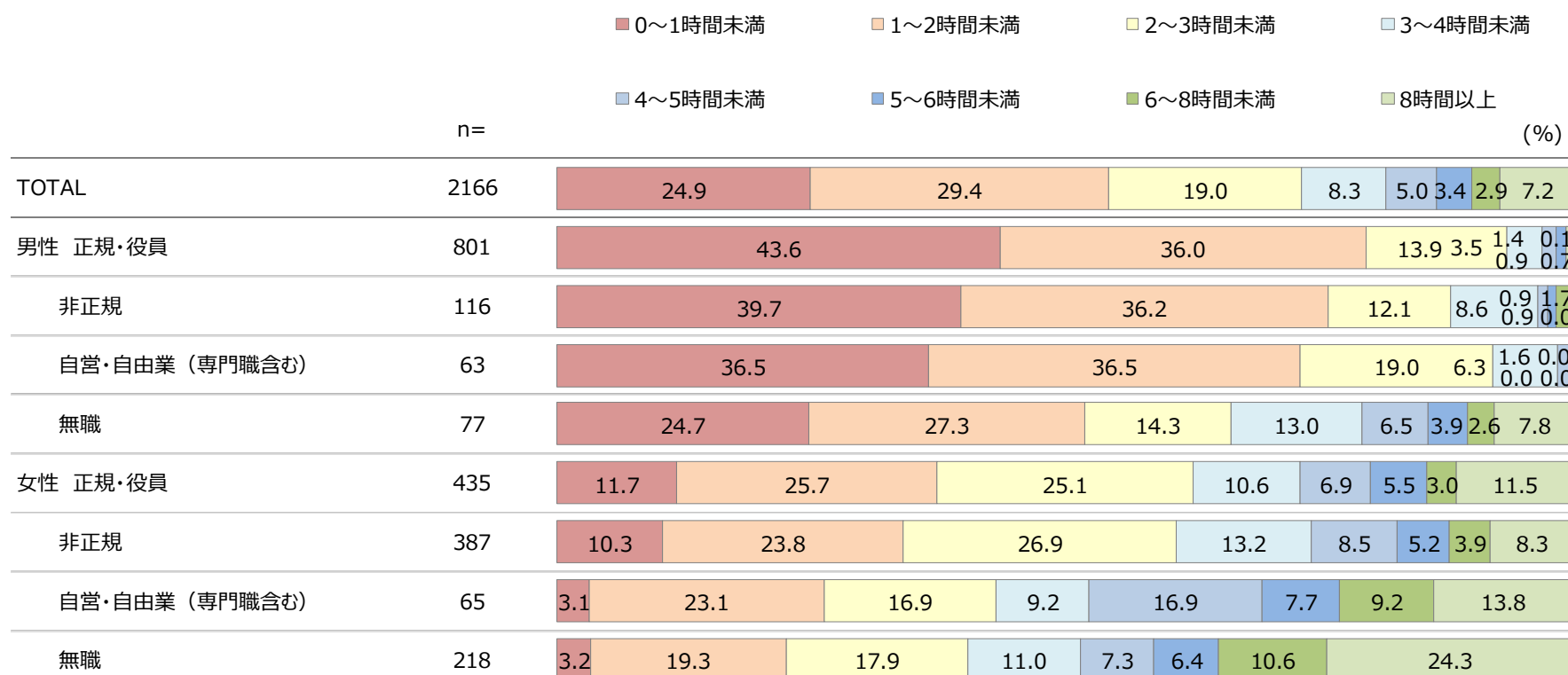
※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略 (TOTAL値には含む)

Q5 家事や育児について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。平日と休日の「家事」「育児」それぞれについてお答えください。:平日の育児 (世話、勉強・遊び相手、送迎等)

(1) ③平日の育児時間

- 性別・就労雇用形態別にみると、男性では『無職』を除く全ての就労雇用形態において、2時間以上が約2～3割となっている。女性の中では『正規・役員』が最も育児時間が短い、それでも2時間以上が約6割(62.6%)を占める。
- 男女ともに、平日の育児時間が短いのは『正規・役員』、『非正規』、『自営・自由業』、『無職』の順となっている。

Ⅲ-2-(1)③-2.性別・就労雇用形態別



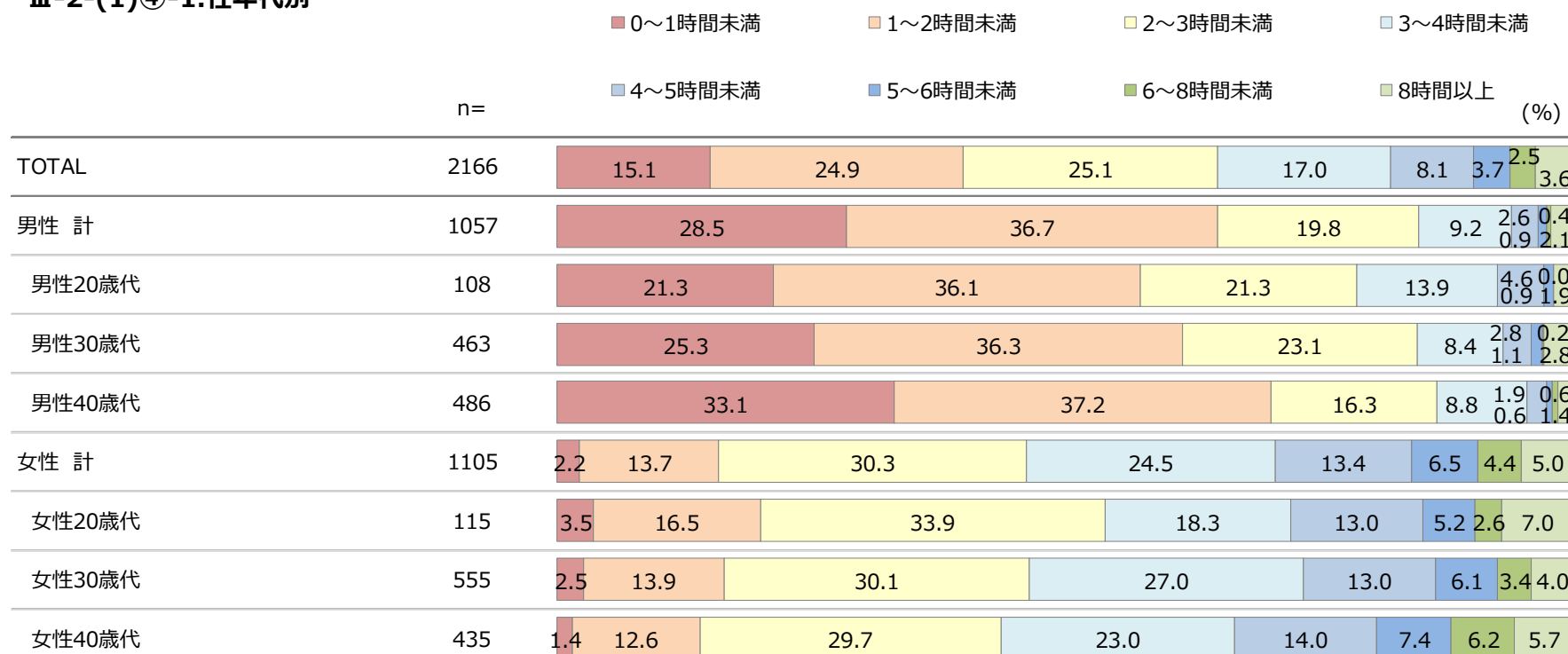
※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q5 家事や育児について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。平日と休日の「家事」「育児」それぞれについてお答えください。：平日の育児（世話、勉強・遊び相手、送迎等）

(1) ④休日の家事時間

- 休日の家事時間は、「2～3時間未満」が最も多く、25.1%。「1～2時間未満」(24.9%)、「3～4時間未満」(17.0%)が続く。
- 性年代別にみると、平日同様に男女の差が大きく、男性では2時間以上が約3～4割となっているのに対し、女性はその年代でも2時間以上が約8割を占めている。さらに、男性は年齢が高いほど家事時間が短くなる傾向を示している。

Ⅲ-2-(1)④-1.性年代別



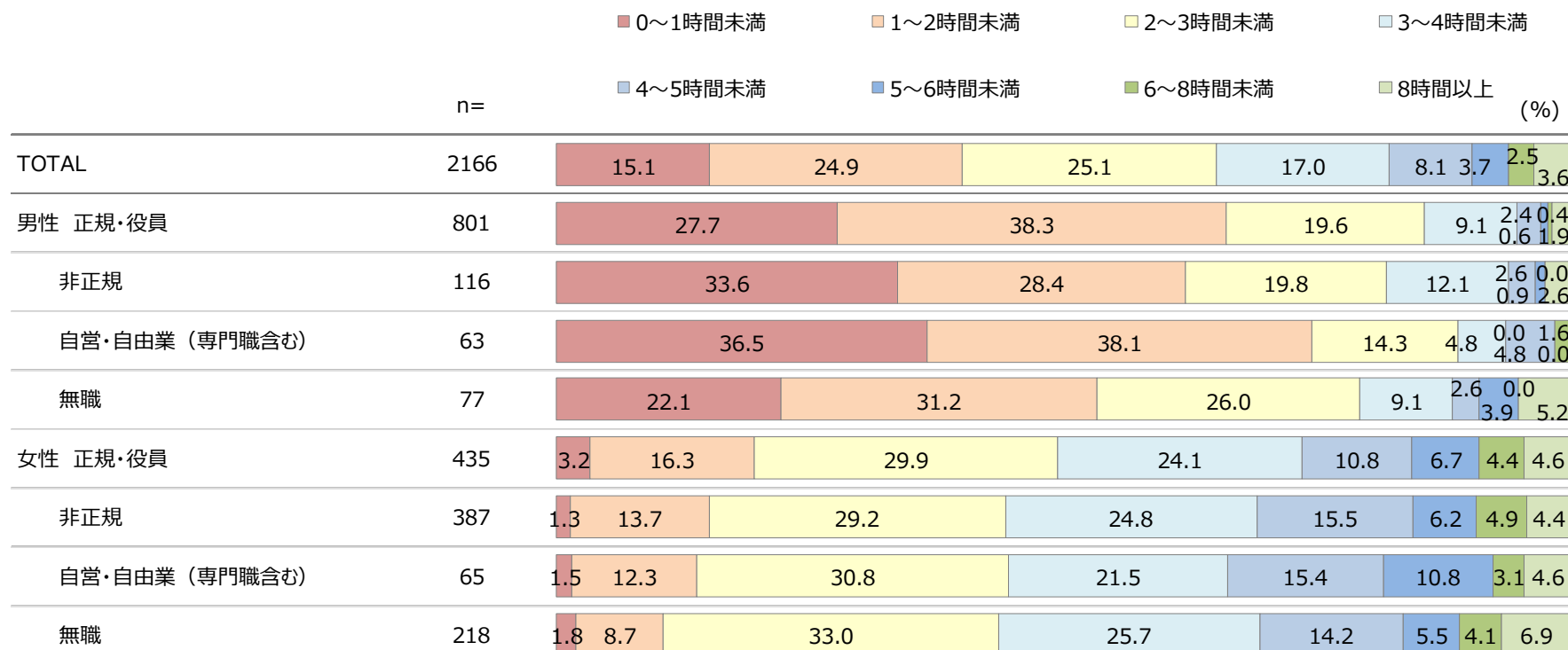
※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略 (TOTAL値には含む)

Q5 家事や育児について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。平日と休日の「家事」「育児」それぞれについてお答えください。:休日の家事（炊事・洗濯・掃除等）

(1) ④休日の家事時間

- 性別・就労雇用形態別にみると、男性では『無職』を除く全ての就労雇用形態において、2時間以上が約3～4割となっているのに対し、女性の中では『正規・役員』が最も家事時間が短い、それでも2時間以上が約8割（80.5%）を占める。

Ⅲ-2-(1)④-2.性別・就労雇用形態別



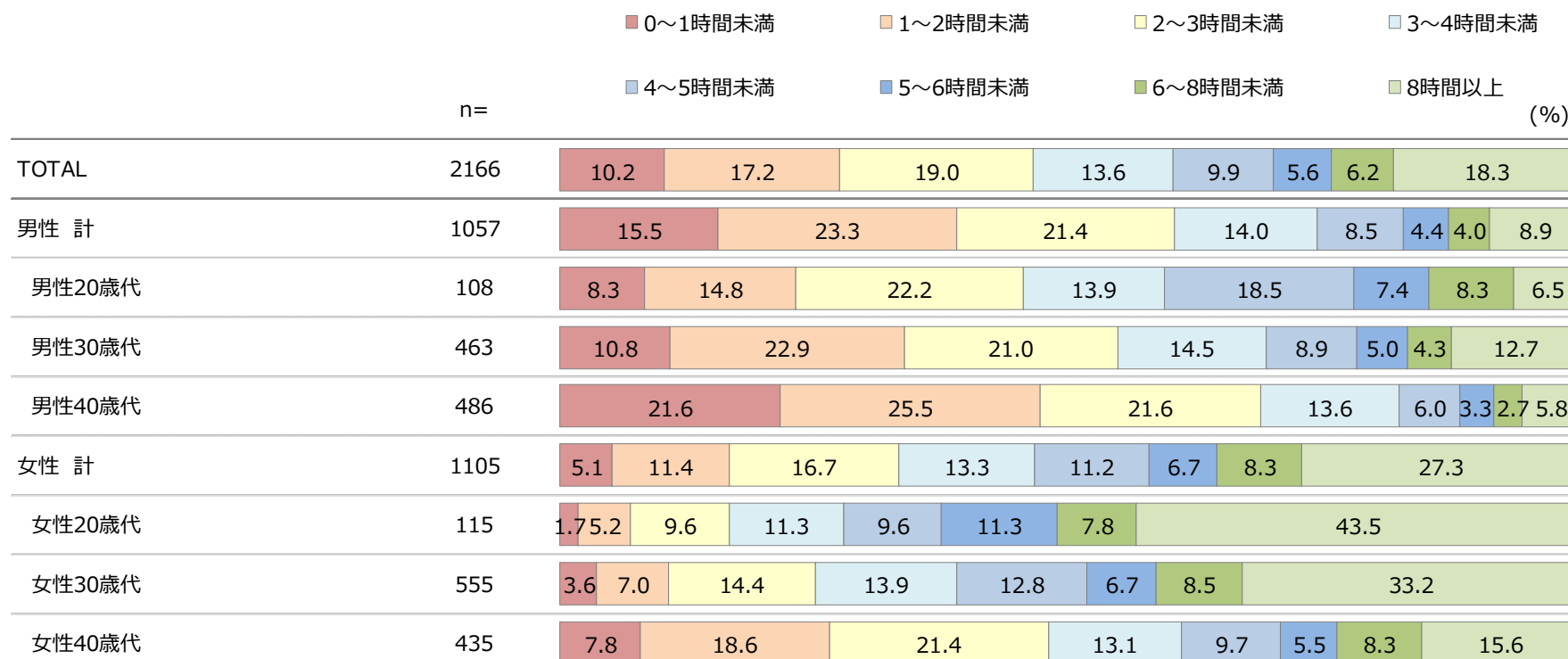
※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q5 家事や育児について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。平日と休日の「家事」「育児」それぞれについてお答えください。：休日の家事（炊事・洗濯・掃除等）

(1) ⑤休日の育児時間

- 休日の育児時間は、「2～3時間未満」が最も多く、19.0%。「8時間以上」(18.3%)、「1～2時間未満」(17.2%)が続く。
- 性年代別にみると、平日同様に男女の差が大きい。また男女とも年齢が若いほど時間が長くなる傾向があり、『女性20歳代』で約9割(93.1%)、『男性20歳代』で約8割(76.8%)が2時間以上となっている。さらに『女性20歳代』の約4割(43.5%)が「8時間以上」を費やしていることがわかる。

Ⅲ-2-(1)⑤-1.性年代別



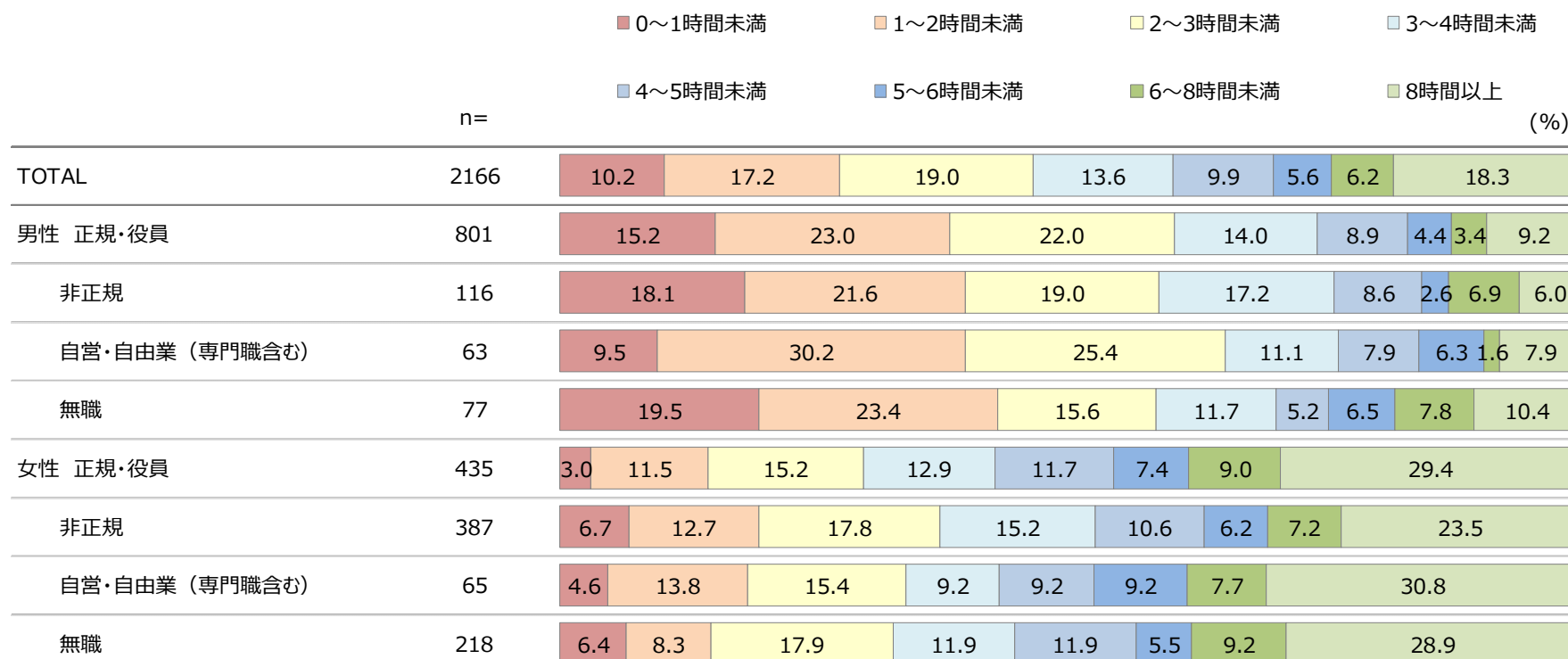
※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q5 家事や育児について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。平日と休日の「家事」「育児」それぞれについてお答えください。:休日の育児（世話、勉強・遊び相手、送迎等）

(1) ⑤休日の育児時間

- 性別・就労雇用形態別にみると、男性は全ての就労雇用形態において2時間以上が約6割となっており、就労雇用形態による大きな差はみられない。女性では、『正規・役員』の育児時間がやや長い、男性同様大きな差はなく、全ての就業雇用形態で2時間以上が約8割を占める。

Ⅲ-2-(1)⑤-2.性別・就労雇用形態別



※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q5 家事や育児について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。平日と休日の「家事」「育児」それぞれについてお答えください。：休日の育児（世話、勉強・遊び相手、送迎等）

Ⅲ－２．家事・育児時間や家庭での分担状況

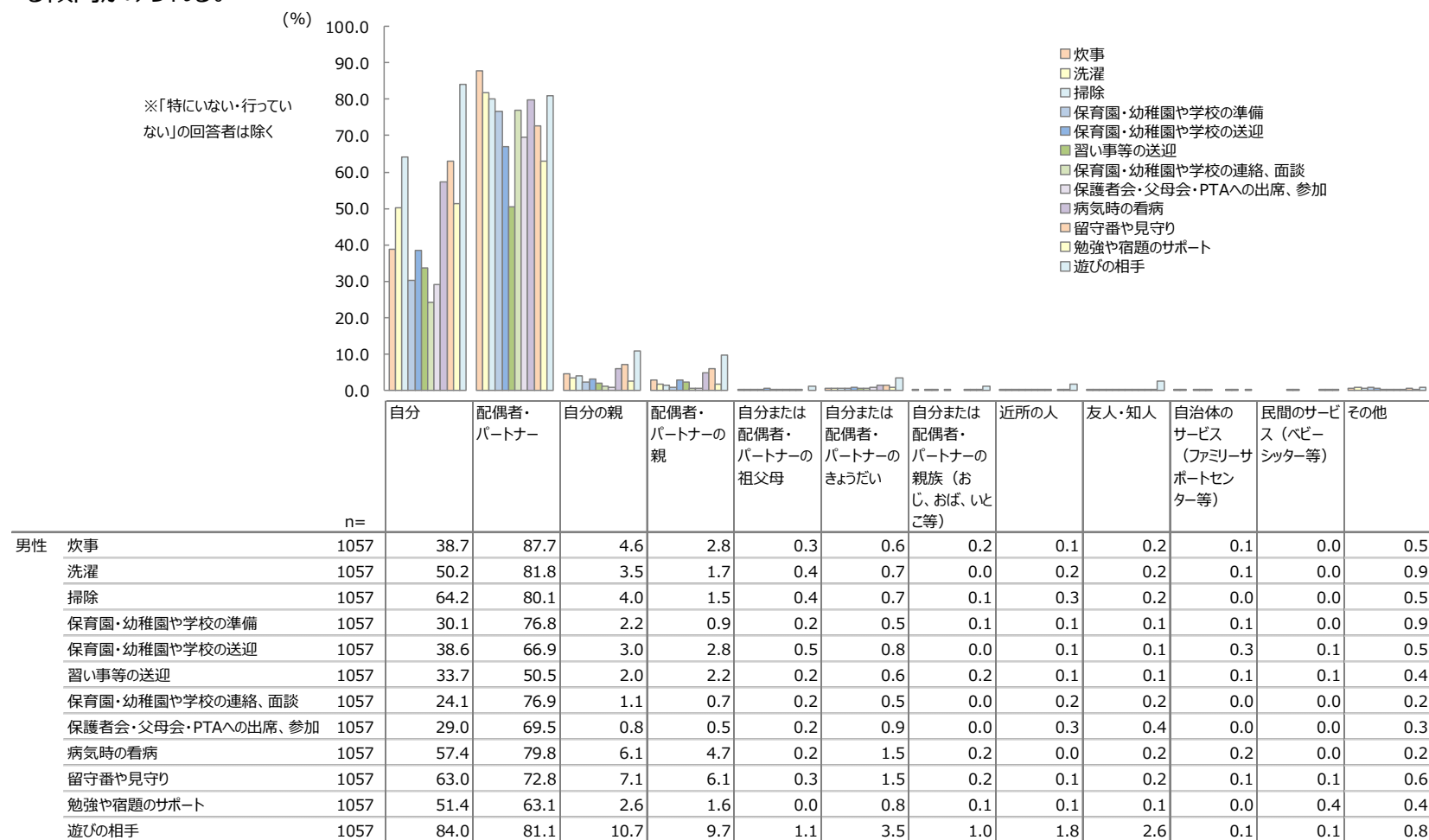
(2) 家庭での分担状況

① 家庭での分担状況	7 6 p
② 家庭での分担状況 炊事	7 8 p
③ 家庭での分担状況 洗濯	7 9 p
④ 家庭での分担状況 掃除	8 0 p
⑤ 家庭での分担状況 保育園・幼稚園や学校の準備	8 1 p
⑥ 家庭での分担状況 保育園・幼稚園や学校の送迎	8 2 p
⑦ 家庭での分担状況 習い事等の送迎	8 3 p
⑧ 家庭での分担状況 保育園・幼稚園や学校の連絡、面談	8 4 p
⑨ 家庭での分担状況 保護者会・父母会・PTAへの出席、参加	8 5 p
⑩ 家庭での分担状況 病気時の看病	8 6 p
⑪ 家庭での分担状況 留守番や見守り	8 7 p
⑫ 家庭での分担状況 勉強や宿題のサポート	8 8 p
⑬ 家庭での分担状況 遊びの相手	8 9 p

(2) ①家庭での分担状況 男性

家庭での分担状況

- 家事・育児に関する家庭内での分担状況について男性の傾向をみると、「自分」と回答した割合が高いのは、『遊びの相手』(84.0%)、『掃除』(64.2%)、『留守番や見守り』(63.0%)となっている。
- また、「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」の関与も見られ、特に『遊びの相手』、『留守番や見守り』、『病気時の看病』を分担する傾向がみられる。

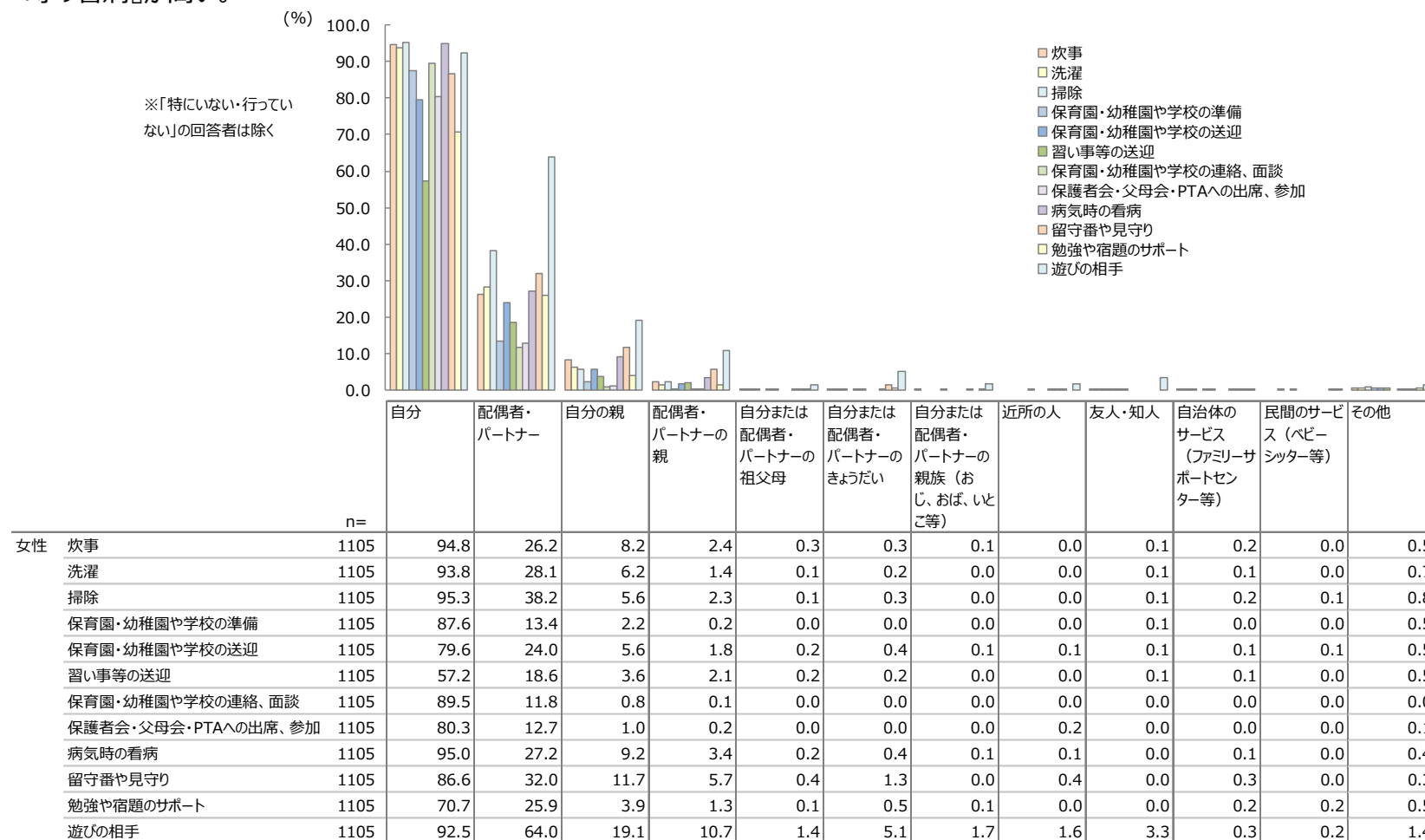


Q19 あなたのご家庭では、次にあげる家事・育児等をどなたが担当、分担していますか。あてはまる方をすべてお選びください。

(2) ①家庭での分担状況 女性

家庭での分担状況

- 家事・育児に関する家庭内での分担状況を女性の傾向をみると、全般的に「自分」と回答した割合が高く、女性が主に担当していることがわかる。特に『掃除』(95.3%)、『病気時の看病』(95.0%)、『炊事』(94.8%)でその傾向が顕著である。
- また、「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」の関与では男性同様の傾向がみられ、特に『遊びの相手』、『留守番や見守り』、『病気時の看病』が高い。



Q19 あなたのご家庭では、次にあげる家事・育児等をどなたが担当、分担していますか。あてはまる方をすべてお選びください。

(2) ②家庭での分担状況 炊事

- 炊事について、女性の95.4%が「自分」と回答しており、全ての年代で9割を超えている。『男性20歳代』は48.6%が「自分」と回答しており、若い層ほど割合が高い。
- 性別・就労雇用形態別にみると、女性の『正規・役員』の13.7%は「自分の親」と分担している。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯は「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」と分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)②-1.属性別(複数回答)

			(%)												
			自分	配偶者・ パートナー	自分の親	配偶者・ パートナーの 親	自分または 配偶者・ パートナーの 祖父母	自分または 配偶者・ パートナーの きょうだい	自分または 配偶者・ パートナーの 親族（お じ、おば、いと こ等）	近所の人	友人・知人	自治体の サービス （ファミリーサ ポートセン ター等）	民間のサービ ス（ベビー シッター等）	その他	
TOTALと比べ															
+5ポイント以上															
-5ポイント以下															
n=															
TOTAL			2136	68.4	57.0	6.6	2.7	0.3	0.4	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.5
性年代	男性 計	1034	39.6	89.7	4.7	2.9	0.3	0.6	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.5	
	男性20歳代	105	48.6	90.5	4.8	1.9	1.9	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性30歳代	453	41.3	89.2	4.4	3.1	0.2	0.9	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	
	男性40歳代	476	35.9	89.9	5.0	2.9	0.0	0.2	0.4	0.0	0.2	0.2	0.0	1.1	
	女性 計	1098	95.4	26.4	8.3	2.5	0.3	0.3	0.1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.5	
	女性20歳代	113	93.8	29.2	9.7	3.5	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
	女性30歳代	553	94.4	31.3	8.9	1.4	0.4	0.0	0.2	0.0	0.2	0.4	0.0	0.5	
	女性40歳代	432	97.2	19.4	7.2	3.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	
就業雇用状態	男性 正規・役員	787	37.4	92.6	4.3	3.3	0.3	0.4	0.1	0.1	0.3	0.0	0.0	0.4	
	非正規	115	39.1	82.6	5.2	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
	自営・自由業（専門職含む）	62	41.9	87.1	9.7	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	
	無職	70	62.9	70.0	4.3	0.0	0.0	2.9	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	
	女性 正規・役員	432	93.5	33.6	13.7	3.9	0.5	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.7	
	非正規	384	95.8	22.9	5.7	1.6	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.8	
	自営・自由業（専門職含む）	65	98.5	23.1	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	217	97.7	19.4	4.6	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	
家族類型	子と夫婦	1779	68.6	61.6	1.3	1.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.4	
	子と親ひとり	69	89.9	2.9	10.1	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	
	子と夫婦と親族※	217	62.7	53.5	27.2	18.0	0.9	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	
	子と親ひとりと親族※	62	58.1	1.6	80.6	0.0	3.2	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.6	

※親族とは、父母・祖父母・きょうだい・おじ・おば・いとこ等のうち1つでも回答があった人（自分、または配偶者・パートナーの親族問わず）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

※「特になし・行っていない」との回答者は除く

(2) ③家庭での分担状況 洗濯

- 洗濯について、女性の94.0%が「自分」と回答している。『男性20歳代』は61.5%が「自分」と回答しており、若い層ほど割合が高い。
- 性別・就労雇用形態別にみると、女性の『正規・役員』の10.1%は「自分の親」と分担している。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯は「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」と分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)③-1.属性別(複数回答)

			(%)												
			自分	配偶者・ パートナー	自分の親	配偶者・ パートナーの 親	自分または パートナーの 祖父母	自分または 配偶者・ パートナーの きょうだい	自分または 配偶者・ パートナーの 親族（お じ、おば、いと こ等）	近所の人	友人・知人	自治体の サービス （ファミリーサ ポートセン ター等）	民間のサービ ス（ベビー シッター等）	その他	
TOTALと比べ															
+5ポイント以上 -5ポイント以下															
n=															
TOTAL			2142	73.3	54.9	4.9	1.6	0.2	0.4	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.8
性年代	男性 計	1035	51.3	83.6	3.6	1.7	0.4	0.7	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	0.9	
	男性20歳代	104	61.5	81.7	3.8	1.0	2.9	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
	男性30歳代	454	53.3	85.7	3.1	1.3	0.2	0.4	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.7	
	男性40歳代	477	47.2	82.0	4.0	2.3	0.0	0.8	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	1.3	
	女性 計	1103	94.0	28.2	6.3	1.5	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.7	
	女性20歳代	115	93.9	32.2	9.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
	女性30歳代	554	94.9	31.8	6.5	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.5	
	女性40歳代	434	92.9	22.6	5.1	1.4	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
就業雇用状態	男性 正規・役員	787	49.3	86.7	2.8	2.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	0.1	0.0	0.8	
	非正規	115	55.7	80.0	5.2	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自営・自由業（専門職含む）	61	47.5	77.0	8.2	1.6	1.6	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	
	無職	72	69.4	61.1	5.6	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	
	女性 正規・役員	434	91.5	39.9	10.1	1.8	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.9	
	非正規	386	95.6	21.2	4.4	1.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	
	自営・自由業（専門職含む）	65	96.9	20.0	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	218	95.4	19.7	3.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
家族類型	子と夫婦	1783	73.9	58.9	0.3	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.7	
	子と親ひとり	70	91.4	2.9	4.3	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	
	子と夫婦と親族※	219	67.1	55.3	24.2	12.8	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
	子と親ひとりと親族※	61	60.7	1.6	73.8	1.6	1.6	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	

※親族とは、父母・祖父母・きょうだい・おじ・おば・いとこ等のうち1つでも回答があった人（自分、または配偶者・パートナーの親族問わず）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

※「特にいない・行っていない」との回答者は除く

(2) ④家庭での分担状況 掃除

- 掃除について、女性の95.6%が「自分」と回答している。『男性20歳代』は74.0%が「自分」と回答しており、若い層ほど割合が高く、全ての年代で6割を超えている。
- 性別・就労雇用形態別にみると、男性は『無職』（77.8%）が最も高く、その他の雇用形態でも約6割と、炊事や洗濯に比べて高い。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯は「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」と分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)④-1.属性別(複数回答)

			(%)												
			自分	配偶者・ パートナー	自分の親	配偶者・ パートナーの 親	自分または 配偶者・ パートナーの 祖父母	自分または 配偶者・ パートナーの きょうだい	自分または 配偶者・ パートナーの 親族（お じ、おば、いと こ等）	近所の人	友人・知人	自治体の サービス （ファミリーサ ポートセン ター等）	民間のサービ ス（ベビー シッター等）	その他	
TOTALと比べ															
n=															
TOTAL			2137	81.1	59.5	4.9	1.9	0.2	0.5	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.7
性年代	男性 計	1032	65.8	82.1	4.1	1.6	0.4	0.7	0.1	0.3	0.2	0.0	0.0	0.5	
	男性20歳代	104	74.0	77.9	4.8	1.0	2.9	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	
	男性30歳代	453	66.9	83.0	3.1	1.3	0.2	0.9	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	
	男性40歳代	475	62.9	82.1	4.8	1.9	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.6	
	女性 計	1101	95.6	38.3	5.6	2.3	0.1	0.3	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.8	
	女性20歳代	115	93.0	39.1	7.8	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
	女性30歳代	554	96.0	40.4	6.3	1.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.2	0.4	0.2	0.5	
	女性40歳代	432	95.8	35.4	4.2	3.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	
就業雇用状態	男性 正規・役員	784	64.5	84.4	3.4	1.8	0.3	0.4	0.1	0.4	0.3	0.0	0.0	0.5	
	非正規	115	67.8	79.1	5.2	1.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自営・自由業（専門職含む）	61	63.9	78.7	9.8	0.0	1.6	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	
	無職	72	77.8	63.9	4.2	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性 正規・役員	432	95.1	48.4	8.1	2.8	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	1.2	
	非正規	386	96.1	33.2	4.9	2.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.0	
	自営・自由業（専門職含む）	65	96.9	30.8	1.5	3.1	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	218	95.4	29.8	3.2	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	
家族類型	子と夫婦	1780	81.0	63.9	0.4	0.2	0.1	0.3	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.6	
	子と親ひとり	69	97.1	1.4	2.9	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	子と夫婦と親族※	218	76.6	59.2	25.2	16.1	1.4	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	
	子と親ひとりと親族※	61	82.0	1.6	65.6	1.6	1.6	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	

※親族とは、父母・祖父母・きょうだい・おじ・おば・いとこ等のうち1つでも回答があった人（自分、または配偶者・パートナーの親族問わず）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

※「特にいない・行っていない」との回答者は除く

(2) ⑤家庭での分担状況 保育園・幼稚園や学校の準備

- 保育園・幼稚園や学校の準備では、女性の98.8%が「自分」と回答しており、ほぼ女性が主になって担当している。
- 性別・就労雇用形態別にみると、「自分」と回答した女性は『自営・自由業』（100%）が最も高い。男性では『非正規』（46.9%）が最も高い。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯は「自分の親」と分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)⑤-1.属性別(複数回答)

		(%)											
		自分	配偶者・パートナー	自分の親	配偶者・パートナーの親	自分またはパートナーの祖父母	自分または配偶者・パートナーのきょうだい	自分または配偶者・パートナーの親族（おじ、おば、いとこ等）	近所の人	友人・知人	自治体のサービス（ファミリーサポートセンター等）	民間のサービス（ベビシッター等）	その他
		TOTALと比べ											
		+5ポイント以上											
		-5ポイント以下											
		n=											
TOTAL		1863	69.1	51.6	2.5	0.6	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.8
性年代	男性 計	879	36.2	92.4	2.6	1.0	0.2	0.6	0.1	0.1	0.1	0.0	1.0
	男性20歳代	77	44.2	88.3	5.2	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
	男性30歳代	384	39.3	91.4	1.8	1.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	男性40歳代	418	31.8	94.0	2.9	1.0	0.0	0.7	0.2	0.2	0.0	0.0	1.2
	女性 計	980	98.8	15.1	2.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.5
	女性20歳代	95	100.0	20.0	3.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	女性30歳代	501	98.8	16.6	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.4
	女性40歳代	384	98.4	12.0	2.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
就業雇用状態	男性 正規・役員	660	33.8	93.8	2.7	1.1	0.3	0.5	0.0	0.2	0.2	0.0	1.1
	非正規	98	46.9	89.8	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営・自由業（専門職含む）	58	34.5	91.4	1.7	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
	無職	63	46.0	82.5	4.8	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6
	女性 正規・役員	392	98.0	21.2	5.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.5
	非正規	355	99.2	11.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	自営・自由業（専門職含む）	56	100.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	177	99.4	9.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
家族類型	子と夫婦	1555	67.5	55.0	1.0	0.4	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.7
	子と親ひとり	65	93.8	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	子と夫婦と親族※	194	69.1	52.1	10.3	2.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	子と親ひとりと親族※	43	95.3	4.7	25.6	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※親族とは、父母・祖父母・きょうだい・おじ・おば・いとこ等のうち1つでも回答があった人（自分、または配偶者・パートナーの親族問わず）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

※「特になし・行っていない」との回答者は除く

(2) ⑥家庭での分担状況 保育園・幼稚園や学校の送迎

- 保育園・幼稚園や学校の送迎では、女性の96.9%が「自分」と回答している。『男性20歳代』は59.2%が「自分」と回答しており、最も高い。
- 性別・就労雇用形態別にみると、「自分」と回答した女性は『自営・自由業』（100%）が最も高い。女性の『正規・役員』の12.3%は「自分の親」と分担している。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯では「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」、また子と親ひとりの世帯でも「自分の親」と分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)⑥-1.属性別(複数回答)

Ⅲ-2-(2)⑥-1.属性別(複数回答)

TOTALと比べ

+5ポイント以上

-5ポイント以下

n=

		自分	配偶者・ パートナー	自分の親	配偶者・ パートナーの 親	自分または 配偶者・ パートナーの 祖父母	自分または 配偶者・ パートナーの きょうだい	自分または 配偶者・ パートナーの 親族（お じ、おば、いと こ等）	近所の人	友人・知人	自治体の サービス （ファミリーサ ポートセン ター等）	民間のサービ ス（ベビー シッター等）	その他	(%)
TOTAL		1712	75.4	56.9	5.5	2.9	0.4	0.7	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.6
性年代	男性 計	800	51.0	88.4	4.0	3.8	0.6	1.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.1	0.6
	男性20歳代	71	59.2	85.9	7.0	4.2	2.8	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0
	男性30歳代	369	49.6	88.3	3.5	3.8	0.8	0.8	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.5
	男性40歳代	360	50.8	88.9	3.9	3.6	0.0	1.1	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.8
	女性 計	908	96.9	29.2	6.8	2.2	0.2	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6
	女性20歳代	89	97.8	27.0	10.1	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
	女性30歳代	472	96.8	35.2	7.2	1.9	0.2	0.4	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.4
	女性40歳代	347	96.8	21.6	5.5	2.6	0.0	0.6	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3
就業雇用状態	男性 正規・役員	603	47.6	91.0	4.3	4.1	0.5	1.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.2	0.7
	非正規	91	60.4	87.9	1.1	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	自営・自由業（専門職含む）	50	56.0	80.0	6.0	6.0	4.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	56	67.9	67.9	3.6	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	女性 正規・役員	373	96.0	42.6	12.3	4.0	0.3	0.3	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3
	非正規	324	98.5	21.0	4.3	1.5	0.3	0.9	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3
	自営・自由業（専門職含む）	49	100.0	16.3	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	162	95.1	18.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
家族類型	子と夫婦	1423	74.1	61.3	3.0	2.1	0.4	0.6	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6
	子と親ひとり	58	93.1	1.7	13.8	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
	子と夫婦と親族※	180	77.2	53.3	13.3	10.6	1.1	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
	子と親ひとりと親族※	45	88.9	2.2	42.2	0.0	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	2.2

※親族とは、父母・祖父母・きょうだい・おじ・おば・いとこ等のうち1つでも回答があった人（自分、または配偶者・パートナーの親族問わず）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

※「特にいない・行っていない」との回答者は除く

(2) ⑦家庭での分担状況 習い事等の送迎

- 習い事等の送迎では、女性の93.1%が「自分」と回答している。『男性20歳代』は75.0%が「自分」と回答しており、若い層ほど割合が高い。
- 性別・就労雇用形態別にみると、女性の『正規・役員』の10.3%は「自分の親」と分担している。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯では「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」と分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)⑦-1.属性別(複数回答)

		(%)												
			自分	配偶者・ パートナー	自分の親	配偶者・ パートナーの 親	自分または 配偶者・ パートナーの 祖父母	自分または 配偶者・ パートナーの きょうだい	自分または 配偶者・ パートナーの 親族（お じ、おば、いと こ等）	近所の人	友人・知人	自治体の サービス （ファミリーサ ポートセン ター等）	民間のサービ ス（ベビー シッター等）	その他
		n=												
TOTAL		1299	76.2	57.1	4.7	3.5	0.3	0.6	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.7
性年代	男性 計	616	57.8	86.7	3.4	3.7	0.3	1.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.6
	男性20歳代	36	75.0	83.3	5.6	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
	男性30歳代	255	60.4	85.1	2.7	3.5	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
	男性40歳代	325	53.8	88.3	3.7	4.0	0.0	1.2	0.6	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3
	女性 計	679	93.1	30.3	5.9	3.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.7
	女性20歳代	34	97.1	26.5	8.8	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性30歳代	314	93.3	36.0	6.7	2.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
	女性40歳代	331	92.4	25.4	4.8	4.2	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.5
就業雇用状態	男性 正規・役員	497	56.1	88.3	3.6	4.0	0.2	1.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0	0.6
	非正規	48	60.4	87.5	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
	自営・自由業（専門職含む）	35	65.7	82.9	2.9	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	36	69.4	66.7	5.6	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0
	女性 正規・役員	261	90.8	40.6	10.3	6.1	0.4	0.8	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4
	非正規	255	94.9	25.9	4.3	2.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	1.6
	自営・自由業（専門職含む）	42	95.2	21.4	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	121	93.4	20.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族類型	子と夫婦	1079	75.3	60.6	2.5	2.4	0.4	0.6	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.6
	子と親ひとり	48	91.7	2.1	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	4.2
	子と夫婦と親族※	139	77.7	59.0	14.4	13.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子と親ひとりと親族※	28	85.7	3.6	35.7	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

※「特になし・行っていない」との回答者は除く

※「子と親ひとりと親族」は30サンプル未満で参考値のため 表示

- 保育園・幼稚園や学校の連絡、面談では、女性の99.2%が「自分」と回答しており、ほぼ女性が主になって担当している。
- 家族類型別にみると、『子と親ひとりと親族』の世帯では「自分の親」と分担している傾向がある。

			TOTALと比べ											(%)	
			+5ポイント以上		-5ポイント以下										
n=			自分	配偶者・パートナー	自分の親	配偶者・パートナーの親	自分またはパートナーの祖父母	自分または配偶者・パートナーのきょうだい	自分または配偶者・パートナーの親族（おじ、おば、いとこ等）	近所の人	友人・知人	自治体のサービス（ファミリーサポートセンター等）	民間のサービス（ベビーシッター等）	その他	
TOTAL			1869	66.7	50.5	1.1	0.4	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
性年代	男性 計	868	29.4	93.7	1.4	0.8	0.2	0.6	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	
	男性20歳代	71	35.2	87.3	4.2	1.4	1.4	2.8	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	
	男性30歳代	375	29.1	93.9	1.3	0.8	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性40歳代	422	28.7	94.5	0.9	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.5	
	女性 計	997	99.2	13.0	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性20歳代	92	98.9	18.5	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性30歳代	499	99.4	15.0	0.8	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性40歳代	406	99.0	9.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
就業雇用状態	男性 正規・役員	652	26.2	95.4	1.4	0.8	0.2	0.5	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.2	
	非正規	96	35.4	92.7	1.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自営・自由業（専門職含む）	55	40.0	89.1	1.8	0.0	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	
	無職	65	43.1	81.5	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性 正規・役員	392	99.0	19.9	1.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	非正規	371	99.7	7.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自営・自由業（専門職含む）	55	98.2	14.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	179	98.9	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
家族類型	子と夫婦	1550	64.4	53.5	0.3	0.3	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	
	子と親ひとり	67	97.0	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	子と夫婦と親族※	196	67.9	55.6	4.6	1.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	子と親ひとりと親族※	50	96.0	2.0	10.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※「特にいない・行っていない」との回答者は除く

(2) ⑨家庭での分担状況 保護者会・父母会・PTAへの出席、参加

- 保護者会・父母会・PTAへの出席、参加では、女性の97.7 %が「自分」と回答しており、ほぼ女性が主になって担当している。『男性20歳代』は5.9%が「友人・知人」と分担している。
- 家族類型別にみると、『子と親ひとりと親族』の世帯では「自分の親」と分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)⑨-1.属性別(複数回答)

		(%)											
		自分	配偶者・パートナー	自分の親	配偶者・パートナーの親	自分またはパートナーの祖父母	自分または配偶者・パートナーのきょうだい	自分または配偶者・パートナーの親族（おじ、おば、いとこ等）	近所の人	友人・知人	自治体のサービス（ファミリーサポートセンター等）	民間のサービス（ベビーシッター等）	その他
		TOTALと比べ											
		+5ポイント以上											
		-5ポイント以下											
		n=											
TOTAL		1723	69.4	50.9	1.1	0.4	0.1	0.5	0.0	0.3	0.2	0.0	0.2
性年代	男性 計	811	37.9	90.6	1.0	0.6	0.2	1.1	0.0	0.4	0.5	0.0	0.4
	男性20歳代	51	49.0	78.4	3.9	3.9	2.0	2.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
	男性30歳代	336	40.2	91.1	0.6	0.0	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	男性40歳代	424	34.7	91.7	0.9	0.7	0.0	1.4	0.0	0.7	0.2	0.0	0.5
	女性 計	908	97.7	15.4	1.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1
	女性20歳代	65	95.4	18.5	3.1	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性30歳代	436	98.4	17.0	1.6	0.5	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2
	女性40歳代	407	97.3	13.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就業雇用状態	男性 正規・役員	614	36.5	92.2	1.0	0.7	0.3	1.1	0.0	0.3	0.7	0.0	0.2
	非正規	92	41.3	87.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1
	自営・自由業（専門職含む）	48	43.8	89.6	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
	無職	57	42.1	80.7	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 正規・役員	346	96.5	23.4	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.3
	非正規	341	98.8	9.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営・自由業（専門職含む）	53	98.1	17.0	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	168	97.6	10.7	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族類型	子と夫婦	1410	67.3	54.3	0.4	0.4	0.1	0.4	0.0	0.4	0.3	0.0	0.2
	子と親ひとり	65	96.9	1.5	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子と夫婦と親族※	194	70.1	54.6	3.6	0.5	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子と親ひとりと親族※	49	93.9	4.1	8.2	0.0	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0

※親族とは、父母・祖父母・きょうだい・おじ・おば・いとこ等のうち1つでも回答があった人（自分、または配偶者・パートナーの親族問わず）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

※「特にいない・行っていない」との回答者は除く

(2) ⑩家庭での分担状況 病気時の看病

- 病気時の看病では、女性の98.7%が「自分」と回答している。男性は65.4%が「自分」と回答し、全ての年代で6割を超えている。
- 性別・就労雇用形態別にみると、女性の『正規・役員』の15.8%は「自分の親」と分担している。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯では「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」が分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)⑩-1.属性別(複数回答)

			(%)												
			自分	配偶者・ パートナー	自分の親	配偶者・ パートナーの 親	自分または パートナーの 祖父母	自分または 配偶者・ パートナーの きょうだい	自分または 配偶者・ パートナーの 親族（お じ、おば、いと ご等）	近所の人	友人・知人	自治体の サービス （ファミリーサ ポートセン ター等）	民間のサービ ス（ベビー シッター等）	その他	
TOTALと比べ															
+5ポイント以上 -5ポイント以下															
n=															
TOTAL			1996	83.1	57.5	8.3	4.4	0.2	1.0	0.2	0.1	0.1	0.2	0.0	0.3
性年代	男性 計	928	65.4	90.9	6.9	5.4	0.2	1.7	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	
	男性20歳代	89	64.0	87.6	9.0	4.5	2.2	2.2	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	
	男性30歳代	401	66.3	91.3	7.5	8.0	0.0	1.5	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	
	男性40歳代	438	64.8	91.3	5.9	3.2	0.0	1.8	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	
	女性 計	1064	98.7	28.3	9.6	3.6	0.2	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	
	女性20歳代	106	100.0	30.2	8.5	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性30歳代	533	99.2	31.7	10.5	3.8	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	
	女性40歳代	425	97.6	23.5	8.7	3.3	0.0	0.7	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.7	
就業雇用状態	男性 正規・役員	697	62.7	93.1	7.0	5.7	0.1	1.7	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.1	
	非正規	109	67.9	89.9	4.6	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自営・自由業（専門職含む）	56	80.4	82.1	12.5	7.1	1.8	3.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	
	無職	66	77.3	77.3	4.5	1.5	0.0	3.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性 正規・役員	418	97.4	36.4	15.8	5.7	0.5	0.7	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.7	
	非正規	378	100.0	22.8	6.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
	自営・自由業（専門職含む）	64	98.4	26.6	6.3	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	204	99.0	22.5	2.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
家族類型	子と夫婦	1662	82.6	61.6	4.8	4.0	0.1	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3	
	子と親ひとり	68	97.1	1.5	14.7	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	
	子と夫婦と親族※	201	80.1	59.2	26.4	10.4	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	
	子と親ひとりと親族※	59	96.6	1.7	39.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※親族とは、父母・祖父母・きょうだい・おじ・おば・いとこ等のうち1つでも回答があった人（自分、または配偶者・パートナーの親族問わず）

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

※「特にいない・行っていない」との回答者は除く

- 留守番や見守りでは、女性の95.3%、男性の73.8%が「自分」と回答し、男性の関与が他の項目と比べて高い。
- 性別・就労雇用形態別にみると、男性の『自営・自由業』の17.0%や女性の『正規・役員』の19.3%は「自分の親」と分担している。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯では「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」が分担している傾向がある。

(%)

※「特にいない・行っていない」との回答者は除く

(2) ⑫家庭での分担状況 勉強や宿題のサポート

- 勉強や宿題のサポートでは、女性の96.3%、男性の71.1%が「自分」と回答し、男性の関与が他の項目と比べて高い。
- 性別・就労雇用形態別にみると、女性の『正規・役員』の10.3%は「自分の親」と分担している。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯では「自分の親」、「自分または配偶者・パートナーのきょうだい」が分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)⑫-1.属性別(複数回答)

			(%)												
			自分	配偶者・ パートナー	自分の親	配偶者・ パートナーの 親	自分または 配偶者・ パートナーの 祖父母	自分または 配偶者・ パートナーの きょうだい	自分または 配偶者・ パートナーの 親族（お じ、おば、いと こ等）	近所の人	友人・知人	自治体の サービス （ファミリーサ ポートセン ター等）	民間のサービ ス（ベビー シッター等）	その他	
TOTALと比べ															
+5ポイント以上															
-5ポイント以下															
n=															
TOTAL			1578	84.0	60.5	4.5	2.0	0.1	0.9	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.6
性年代	男性 計	764	71.1	87.3	3.7	2.2	0.0	1.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.5	0.5	
	男性20歳代	39	76.9	74.4	7.7	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	
	男性30歳代	318	73.0	87.4	3.5	3.1	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性40歳代	407	69.0	88.5	3.4	1.7	0.0	0.7	0.2	0.0	0.2	0.0	0.7	1.0	
	女性 計	811	96.3	35.3	5.3	1.7	0.1	0.7	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.6	
	女性20歳代	49	89.8	38.8	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	
	女性30歳代	381	97.6	38.1	6.0	1.8	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	
	女性40歳代	381	95.8	32.0	4.5	1.8	0.0	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	
就業雇用状態	男性 正規・役員	580	70.0	88.4	3.4	2.6	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	0.0	0.5	0.5	
	非正規	79	73.4	88.6	2.5	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自営・自由業（専門職含む）	50	74.0	82.0	8.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	55	76.4	78.2	3.6	0.0	0.0	3.6	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	
	女性 正規・役員	300	96.3	42.7	10.3	2.3	0.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	1.0	
	非正規	304	97.0	34.2	2.3	1.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	
	自営・自由業（専門職含む）	49	95.9	32.7	6.1	4.1	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	158	94.9	24.1	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯の家族類型	子と夫婦	1296	82.9	65.2	2.2	1.3	0.1	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	0.5	
	子と親ひとり	60	96.7	0.0	10.0	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	子と夫婦と親族※	173	86.7	60.7	13.3	6.9	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	
	子と親ひとりと親族※	44	88.6	2.3	31.8	2.3	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	

※親族とは、父母・祖父母・きょうだい・おじ・おば・いとこ等のうち1つでも回答があった人(自分、または配偶者・パートナーの親族問わず)

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略(TOTAL値には含む)

※「特にいない・行っていない」との回答者は除く

(2) ⑬家庭での分担状況 遊びの相手

- 遊び相手では、女性の95.7%、男性の89.2%が「自分」と回答し、男性の関与が最も高い項目となっている。
- 性別・就労雇用形態別にみると、女性の『正規・役員』の26.3%は「自分の親」、女性の『自営・自由業』の9.8%は「自分または配偶者・パートナーのきょうだい」と分担している。
- 家族類型別にみると、親等の親族と同居している世帯では「自分の親」や「配偶者・パートナーの親」、また『子とひとり親』の世帯は「友人・知人」が分担している傾向がある。

Ⅲ-2-(2)⑬-1.属性別(複数回答)

														(%)	
			自分	配偶者・ パートナー	自分の親	配偶者・ パートナーの 親	自分または 配偶者・ パートナーの 祖父母	自分または 配偶者・ パートナーの きょうだい	自分または 配偶者・ パートナーの 親族（お じ、おば、いと こ等）	近所の人	友人・知人	自治体の サービス （ファミリーサ ポートセン ター等）	民間のサービ ス（ベビー シッター等）	その他	
TOTALと比べ															
+5ポイント以上															
-5ポイント以下															
n=															
TOTAL			2068	92.4	75.8	15.7	10.7	1.3	4.5	1.5	1.8	3.1	0.2	0.1	1.2
性年代	男性 計	996	89.2	86.0	11.3	10.3	1.2	3.7	1.1	1.9	2.8	0.1	0.1	0.8	
	男性20歳代	100	90.0	88.0	18.0	15.0	6.0	5.0	0.0	4.0	3.0	1.0	0.0	0.0	
	男性30歳代	439	88.4	88.6	12.8	13.4	1.1	4.3	1.1	1.8	2.3	0.0	0.0	0.2	
	男性40歳代	457	89.7	83.2	8.5	6.3	0.2	2.8	1.3	1.5	3.3	0.0	0.2	1.5	
	女性 計	1068	95.7	66.2	19.8	11.0	1.4	5.2	1.8	1.7	3.4	0.3	0.2	1.5	
	女性20歳代	112	98.2	68.8	24.1	16.1	6.3	7.1	0.0	4.5	1.8	0.9	0.9	1.8	
	女性30歳代	541	96.9	70.2	21.6	11.6	1.3	5.2	2.0	1.3	3.5	0.4	0.2	0.7	
	女性40歳代	415	93.5	60.2	16.1	8.9	0.2	4.8	1.9	1.4	3.6	0.0	0.0	2.4	
就業雇用状態	男性 正規・役員	756	89.0	86.2	11.6	11.4	1.1	4.0	1.1	2.4	3.2	0.1	0.0	0.4	
	非正規	110	87.3	90.0	8.2	9.1	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
	自営・自由業（専門職含む）	61	86.9	85.2	18.0	8.2	3.3	3.3	1.6	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	
	無職	69	95.7	78.3	7.2	2.9	0.0	4.3	2.9	1.4	2.9	0.0	1.4	2.9	
	女性 正規・役員	426	96.5	70.7	26.3	13.4	1.9	6.6	1.6	1.4	2.8	0.5	0.5	1.6	
	非正規	369	94.6	64.2	16.3	9.5	1.6	4.3	1.6	2.2	4.6	0.0	0.0	1.1	
	自営・自由業（専門職含む）	61	96.7	59.0	18.0	11.5	0.0	9.8	3.3	3.3	4.9	1.6	0.0	0.0	
	無職	212	95.8	62.7	13.2	9.0	0.5	2.8	1.9	0.9	1.9	0.0	0.0	2.4	
世帯の家族類型	子と夫婦	1728	92.4	80.7	12.0	9.6	1.3	4.1	1.3	1.6	2.9	0.2	0.2	1.0	
	子と親ひとり	67	95.5	1.5	13.4	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	11.9	0.0	0.0	1.5	
	子と夫婦と親族※	210	91.0	78.1	35.7	25.7	1.9	6.2	1.4	2.4	2.4	0.5	0.0	0.5	
	子と親ひとりと親族※	57	94.7	5.3	54.4	1.8	0.0	7.0	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	5.3	

※親族とは、父母・祖父母・きょうだい・おじ・おば・いとこ等のうち1つでも回答があった人(自分、または配偶者・パートナーの親族問わず)

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略(TOTAL値には含む)

※「特にいない・行っていない」との回答者は除く

Ⅲ－３．家事代行（支援）サービスや 商品に対する考え

Ⅲ－３．家事代行（支援）サービスや商品に対する考え

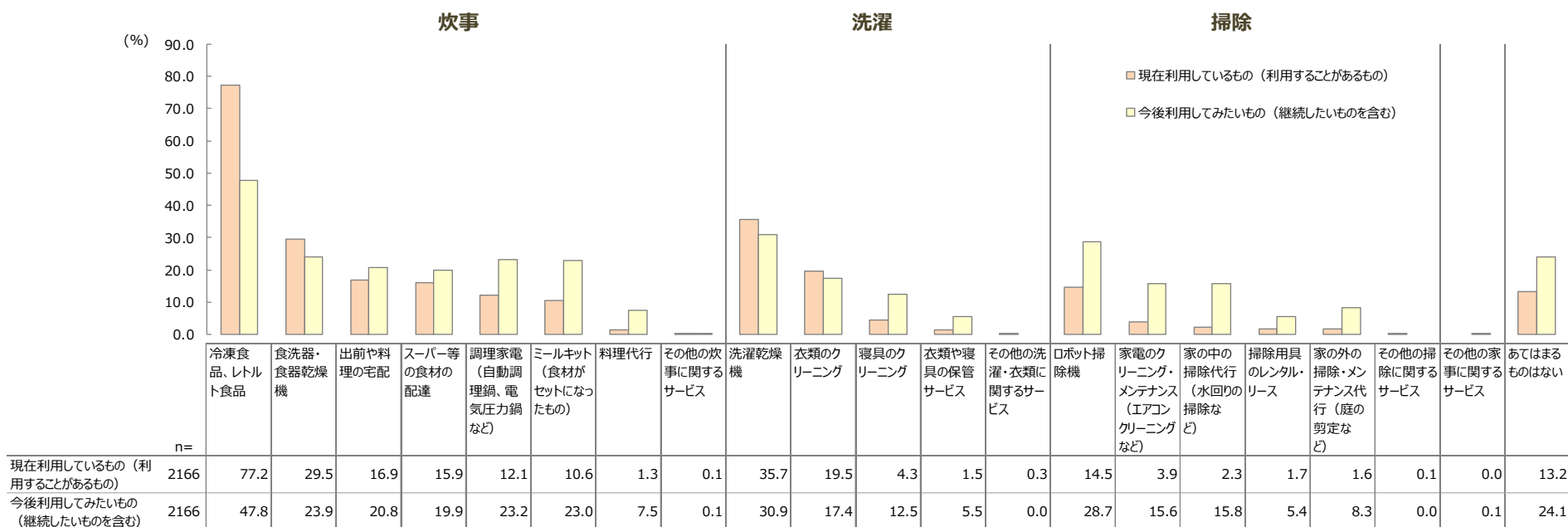
（１）利用状況・利用意向

① 利用状況・利用意向 全体	9 2 p
② 利用状況（現在利用しているもの）	9 4 p
③ 利用意向（今後利用してみたいもの）	9 5 p

(1)①利用状況・利用意向 全体

炊事、洗濯、掃除等の家事代行（支援）サービスの利用状況及び利用意向をたずねた。

- 利用状況（現在利用しているもの）では、「冷凍食品、レトルト食品」（77.2%）が最も高い。「洗濯乾燥機」（35.7%）、「食洗器・食器乾燥機」（29.5%）、「衣類のクリーニング」（19.5%）が続く。洗濯、掃除に比べて、炊事に関わるサービス・商品の利用率は高い傾向がみられる。
- 利用意向（今後利用してみたいもの）では、「冷凍食品、レトルト食品」（47.8%）が最も高い。「洗濯乾燥機」（30.9%）、「ロボット掃除機」（28.7%）、「食洗器・食器乾燥機」（23.9%）等、新三種の神器と呼ばれる家電商品や、「調理家電」（23.2%）、「ミールキット」（23.0%）、「出前や料理の宅配」（20.8%）等、炊事に関わる商品やサービスが続く。



Q20 以下のサービスや商品の中で、現在利用しているもの、今後利用してみたいものをそれぞれお答えください。※家族からのサポートは除き、家事代行（支援）サービスや商品についてお答えください。

(1) ①利用状況・利用意向 全体

炊事、洗濯、掃除等の家事代行（支援）サービスの利用状況及び利用意向を性年代別に表にまとめた。

- 利用状況において、性年代別にみて、上位2位までの商品は変わらない。男女ともに他の年代と比べて『20歳代』で「ロボット掃除機」の割合が高い。
- 利用意向において、男女ともに全ての年代で「冷凍食品、レトルト食品」が最も高く、女性の『30歳代』の「ミールキット（食材がセットになったもの）」（34.8%）や、女性の『20歳代』の「出前や料理の宅配」（28.7%）が他の年代と比べて高かった。

利用状況（現在利用しているもの）

男性						女性						
	20歳代	(%)	30歳代	(%)	40歳代	(%)	20歳代	(%)	30歳代	(%)	40歳代	(%)
1位	冷凍食品、レトルト食品	66.7	冷凍食品、レトルト食品	71.3	冷凍食品、レトルト食品	72.2	冷凍食品、レトルト食品	81.7	冷凍食品、レトルト食品	84.7	冷凍食品、レトルト食品	80.9
2位	洗濯乾燥機	31.5	洗濯乾燥機	38.4	洗濯乾燥機	35.0	洗濯乾燥機	28.7	洗濯乾燥機	37.8	洗濯乾燥機	34.0
3位	ロボット掃除機	25.9	食洗器・食器乾燥機	28.3	食洗器・食器乾燥機	27.0	出前や料理の宅配	22.6	食洗器・食器乾燥機	33.2	食洗器・食器乾燥機	32.4
4位	食洗器・食器乾燥機	24.1	衣類のクリーニング	22.0	衣類のクリーニング	23.9	食洗器・食器乾燥機	21.7	出前や料理の宅配	20.2	衣類のクリーニング	18.4
5位	衣類のクリーニング	22.2	出前や料理の宅配	18.1	スーパー等の食材の配達	14.4	ロボット掃除機	20.0	スーパー等の食材の配達	17.8	スーパー等の食材の配達	15.6

利用意向（今後利用してみたいもの）

男性						女性						
	20歳代	(%)	30歳代	(%)	40歳代	(%)	20歳代	(%)	30歳代	(%)	40歳代	(%)
1位	冷凍食品、レトルト食品	39.8	冷凍食品、レトルト食品	42.3	冷凍食品、レトルト食品	41.6	冷凍食品、レトルト食品	54.8	冷凍食品、レトルト食品	53.2	冷凍食品、レトルト食品	54.5
2位	ロボット掃除機	35.2	洗濯乾燥機	28.5	洗濯乾燥機	24.9	洗濯乾燥機	40.9	ミールキット（食材がセットになったもの）	34.8	洗濯乾燥機	32.4
3位	洗濯乾燥機	34.3	ロボット掃除機	25.7	ロボット掃除機	22.2	ロボット掃除機	32.2	洗濯乾燥機	34.4	ロボット掃除機	32.4
4位	食洗器・食器乾燥機	25.0	食洗器・食器乾燥機	22.9	食洗器・食器乾燥機	19.8	調理家電（自動調理鍋、電気圧力鍋など）	28.7	ロボット掃除機	32.3	ミールキット（食材がセットになったもの）	26.9
5位	調理家電（自動調理鍋、電気圧力鍋など）	25.0	調理家電（自動調理鍋、電気圧力鍋など）	20.3	衣類のクリーニング	17.3	出前や料理の宅配	28.7	調理家電（自動調理鍋、電気圧力鍋など）	30.5	調理家電（自動調理鍋、電気圧力鍋など）	26.2

(1) ②利用状況（現在利用しているもの）

- 利用状況（現在利用しているもの）について、男女ともに「冷凍食品、レトルト食品」の利用が最も多く、女性の82.9%が利用している。
また、男女とも『20歳代』では「ロボット掃除機」（男性25.9%、女性20.0%）の利用率が高く、男性の『20歳代』は「調理家電」（19.4%）の利用率が高く、他の年代と差がみられる。

Ⅲ-3-(1)②-1.基本属性別(複数回答)

																					(%)		
		炊事								洗濯					掃除						その他 の家事 に関する サービス	あては まるもの はない	
		冷凍食 品、レト ルト食 品	食洗 器・食 器乾燥 機	出前や 料理の 宅配	スー パー等 の食材 の配達	調理家 電	ミール キット	料理代 行	その他 の炊事 に関するサ ービス	洗濯乾 燥機	衣類の クリーニ ング	寝具の クリーニ ング	衣類や 寝具の 保管 サ ービス	その他 の洗 濯・衣 類に関 するサ ービス	ロボット 掃除機	家電の クリーニ ング・メ ンテナ ンス	家の中 の掃除 代行	掃除用 具のレ ンタル・ リース	家の外 の掃 除・メン テナ ンス代 行	その他 の掃除 に関するサ ービス			
		TOTALと比べ																					
		+5ポイント以上																					
		-5ポイント以下																					
		n=																					
TOTAL		2166	77.2	29.5	16.9	15.9	12.1	10.6	1.3	0.1	35.7	19.5	4.3	1.5	0.3	14.5	3.9	2.3	1.7	1.6	0.1	0.0	13.2
性年代	男性 計	1057	71.2	27.2	16.4	15.1	12.3	9.6	1.3	0.2	36.1	22.9	5.4	1.4	0.3	14.9	4.5	2.5	1.6	1.8	0.0	0.0	17.3
	男性20歳代	108	66.7	24.1	19.4	19.4	19.4	13.0	4.6	0.0	31.5	22.2	6.5	3.7	0.0	25.9	5.6	5.6	4.6	3.7	0.0	0.0	18.5
	男性30歳代	463	71.3	28.3	18.1	14.9	13.6	10.6	1.5	0.2	38.4	22.0	5.4	0.6	0.6	14.5	5.8	1.9	1.5	1.9	0.0	0.0	17.3
	男性40歳代	486	72.2	27.0	14.0	14.4	9.5	8.0	0.4	0.2	35.0	23.9	5.1	1.6	0.0	13.0	3.1	2.3	1.0	1.2	0.0	0.0	17.1
	女性 計	1105	82.9	31.7	17.5	16.7	12.0	11.5	1.3	0.1	35.4	16.4	3.3	1.5	0.4	14.0	3.3	2.2	1.7	1.4	0.2	0.1	9.1
	女性20歳代	115	81.7	21.7	22.6	14.8	7.0	10.4	2.6	0.0	28.7	10.4	1.7	0.9	0.0	20.0	0.9	0.9	0.9	1.7	0.9	0.0	12.2
	女性30歳代	555	84.7	33.2	20.2	17.8	15.3	13.3	1.4	0.2	37.8	16.0	3.6	2.2	0.4	15.0	4.1	2.0	1.4	1.6	0.2	0.0	8.1
	女性40歳代	435	80.9	32.4	12.6	15.6	9.2	9.4	0.7	0.0	34.0	18.4	3.2	0.9	0.5	11.3	2.8	2.8	2.3	1.1	0.0	0.2	9.7
就労雇用形態	男性 正規・役員	801	71.2	29.7	17.0	16.7	11.9	10.0	1.5	0.1	36.0	25.7	5.9	1.7	0.2	16.4	5.2	2.5	1.7	2.2	0.0	0.0	17.4
	非正規	116	75.0	21.6	15.5	12.1	16.4	7.8	0.0	0.0	38.8	14.7	3.4	0.0	0.0	12.1	2.6	1.7	0.9	0.0	0.0	0.0	14.7
	自営・自由業（専門職含む）	63	74.6	12.7	15.9	11.1	9.5	14.3	1.6	1.6	38.1	14.3	7.9	1.6	1.6	11.1	4.8	1.6	3.2	1.6	0.0	0.0	12.7
	無職	77	63.6	22.1	11.7	6.5	13.0	5.2	1.3	0.0	32.5	13.0	1.3	0.0	0.0	7.8	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	24.7
	女性 正規・役員	435	82.3	34.0	21.1	22.8	14.5	14.7	2.3	0.0	35.2	20.5	5.5	3.0	0.5	20.5	4.4	3.9	3.0	2.3	0.2	0.2	9.9
	非正規	387	82.9	29.2	16.0	12.4	9.8	8.0	0.0	0.3	35.4	11.6	1.0	0.3	0.0	8.8	1.8	0.5	1.0	1.0	0.0	0.0	9.3
	自営・自由業（専門職含む）	65	75.4	33.8	16.9	15.4	12.3	10.8	3.1	0.0	40.0	18.5	7.7	1.5	0.0	10.8	3.1	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	12.3
	無職	218	86.2	30.7	12.8	12.4	11.0	11.5	0.9	0.0	34.4	16.1	1.4	0.9	0.9	11.5	3.7	1.8	0.5	0.5	0.5	0.0	6.4

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q20 以下のサービスや商品の中で、現在利用しているもの、今後利用してみたいものをそれぞれお答えください。※家族からのサポートは除き、家事代行（支援）サービスや商品についてお答えください。:現在利用しているもの（利用することがあるもの）

(1) ③利用意向（今後利用してみたいもの）

- 利用意向（今後利用してみたいもの）について、全体的に男性よりも女性の利用意向が高く、特に「冷凍食品、レトルト食品」（53.8%）や、「ミールキット」（30.6%）、「調理家電」（28.6%）等、炊事に関するものの利用意向が高くなっている。
- 性別・就労雇用形態別でみると、女性の『正規・役員』と『自営・自由業』では似た傾向がみられ、炊事全般や「洗濯乾燥機」、「ロボット掃除機」等の利用意向が高い。

Ⅲ-3-(1)③-1.基本属性別(複数回答)

		炊事										洗濯				掃除						その他 の家事 に関するサ ービス	あては まるもの はない	(%)
		冷凍食 品、レ トルト食 品	食洗 器・食 器乾燥 機	調理家 電	ミール キット	出前や 料理の 宅配	スー パー等 の食材 の配達	料理代 行	その他 の炊事 に関するサ ービス	洗濯乾 燥機	衣類の クリーニ ング	寝具の クリーニ ング	衣類や 寝具の 保管 サービス	その他 の洗 濯・衣 類に関 するサ ービス	ロボット 掃除機	家の中 の掃除 代行	家電の クリーニ ング・メ ンテナ ンス	家の外 の掃 除・メン テナンス 代行	掃除用 具のレン タル・リ ース	その他 の掃除 に関するサ ービス				
		TOTALと比べ																						
		+5ポイント以上																						
		-5ポイント以下																						
		n=																						
TOTAL		2166	47.8	23.9	23.2	23.0	20.8	19.9	7.5	0.1	30.9	17.4	12.5	5.5	0.0	28.7	15.8	15.6	8.3	5.4	0.0	0.1	24.1	
性年代	男性 計	1057	41.7	21.7	17.6	15.1	16.5	17.3	5.3	0.1	27.4	16.7	11.4	4.8	0.1	25.1	10.6	11.1	6.9	4.0	0.0	0.1	31.2	
	男性20歳代	108	39.8	25.0	25.0	20.4	20.4	22.2	11.1	0.0	34.3	16.7	11.1	7.4	0.0	35.2	11.1	12.0	10.2	8.3	0.0	0.0	34.3	
	男性30歳代	463	42.3	22.9	20.3	16.2	18.4	17.3	6.0	0.2	28.5	16.0	11.2	5.0	0.2	25.7	11.2	12.1	7.3	3.7	0.0	0.0	29.8	
	男性40歳代	486	41.6	19.8	13.4	13.0	13.8	16.3	3.3	0.0	24.9	17.3	11.7	4.1	0.0	22.2	9.9	9.9	5.8	3.3	0.0	0.2	31.9	
	女性 計	1105	53.8	26.1	28.6	30.6	25.0	22.4	9.7	0.1	34.3	18.1	13.6	6.2	0.0	32.3	20.8	19.9	9.6	6.9	0.0	0.2	16.9	
	女性20歳代	115	54.8	24.3	28.7	24.3	28.7	25.2	12.2	0.0	40.9	14.8	10.4	5.2	0.0	32.2	14.8	15.7	10.4	7.0	0.0	0.0	18.3	
	女性30歳代	555	53.2	27.0	30.5	34.8	26.3	24.1	11.0	0.2	34.4	16.9	13.3	7.0	0.0	32.3	22.3	20.2	10.5	8.8	0.0	0.0	16.0	
	女性40歳代	435	54.5	25.3	26.2	26.9	22.3	19.5	7.4	0.0	32.4	20.5	14.7	5.3	0.0	32.4	20.5	20.7	8.3	4.4	0.0	0.5	17.7	
就労雇用形態	男性 正規・役員	801	40.3	22.8	18.0	16.6	15.6	18.7	5.7	0.1	28.2	17.5	11.0	5.5	0.1	26.6	10.7	11.4	7.9	4.5	0.0	0.1	31.1	
	非正規	116	47.4	19.0	14.7	12.1	17.2	11.2	4.3	0.0	22.4	16.4	14.7	3.4	0.0	20.7	9.5	7.8	4.3	0.9	0.0	0.0	29.3	
	自営・自由業（専門職含む）	63	42.9	12.7	15.9	9.5	20.6	14.3	1.6	0.0	27.0	14.3	15.9	3.2	0.0	19.0	9.5	12.7	1.6	4.8	0.0	0.0	33.3	
	無職	77	46.8	20.8	19.5	9.1	20.8	14.3	5.2	0.0	27.3	10.4	7.8	1.3	0.0	20.8	11.7	11.7	5.2	2.6	0.0	0.0	33.8	
	女性 正規・役員	435	57.5	27.4	30.3	36.1	28.0	25.1	12.4	0.2	37.2	20.0	15.4	7.4	0.0	38.4	22.8	22.5	9.7	8.5	0.0	0.0	13.1	
	非正規	387	50.1	23.3	26.6	25.8	21.7	18.9	5.9	0.0	28.4	14.7	11.4	5.7	0.0	27.4	18.6	15.2	9.8	5.9	0.0	0.0	19.9	
	自営・自由業（専門職含む）	65	49.2	30.8	33.8	38.5	26.2	21.5	15.4	0.0	40.0	20.0	20.0	4.6	0.0	38.5	20.0	20.0	10.8	4.6	0.0	1.5	18.5	
無職	218	54.6	27.1	27.1	25.7	24.3	23.9	9.2	0.0	37.2	19.7	11.9	5.0	0.0	27.1	21.1	22.9	8.7	6.0	0.0	0.5	18.8		

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q20 以下のサービスや商品の中で、現在利用しているもの、今後利用してみたいものをそれぞれお答えください。※家族からのサポートは除き、家事代行（支援）サービスや商品についてお答えください。：今後利用してみたいもの（継続したいものを含む）

Ⅲ－３．家事代行（支援）サービスや商品に対する考え

（２）家事代行（支援）サービス利用の考え（抵抗感）

- | | | |
|--------------------------|-----------|------|
| ① 家事代行（支援）サービス利用の考え（抵抗感） | 全体 | 97p |
| ② 家事代行（支援）サービス利用の考え（抵抗感） | 個人オンライン調査 | 98p |
| ③ 家事代行（支援）サービス利用の考え（抵抗感） | 意見募集 | 100p |

（2）①家事代行（支援）サービス利用の考え（抵抗感） 全体

家事代行（支援）サービスを利用することについての考えをたずねた。

- 個人オンライン調査は「抵抗がある（どちらかといえば抵抗がある、抵抗があるの合計）」と回答したのが65.2%と半数を超えている。一方、意見募集は「抵抗はない（抵抗はない、どちらかといえば抵抗はないの合計）」と回答したのが62.0%と半数を超え、両調査で逆転した結果となった。
- 個人オンライン調査は、20歳～49歳の子育て層で、男女構成もほぼ均等の回答者であるのに対し、意見募集は、困りごとに直面している方から広く意見を募集したため、30～40歳代の子育て世代の女性からの意見が中心となっている。両調査の対象の違いが、結果が逆転した理由の一つとして考えられる。

Ⅲ-3-(2)①-1.TOTAL

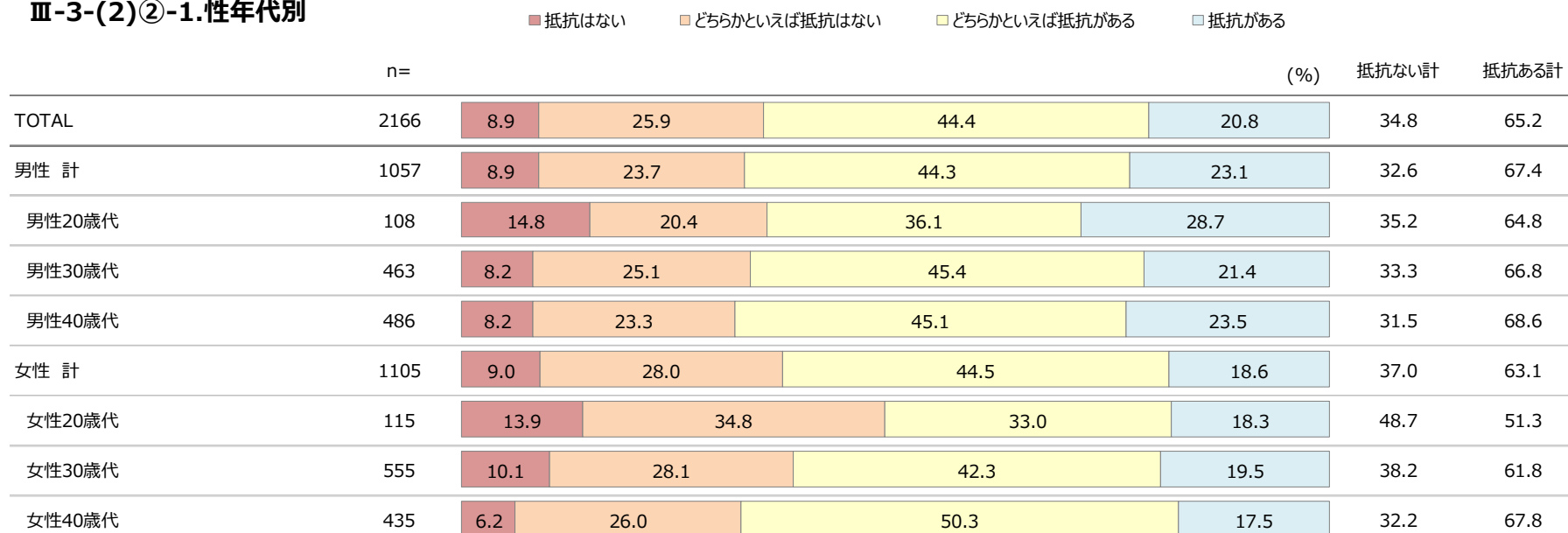
	n=	■ 抵抗はない	■ どちらかといえば抵抗はない	■ どちらかといえば抵抗がある	■ 抵抗がある	(%)	抵抗ない計	抵抗ある計
個人オンライン調査	2166	8.9	25.9	44.4	20.8		34.8	65.2
意見募集	5640	32.3	29.7	29.1	9.0		62.0	38.1

Q21 家事について、家事の負担を軽減するために家族等身近な人以外の家事代行（支援）サービスを利用することについて、あなたはどのように考えますか。あなたの考えにもっともあてはまるものをお答えください。

（2）②家事代行（支援）サービス利用の考え（抵抗感） 個人オンライン調査

- 個人オンライン調査において、「どちらかといえば抵抗がある」（44.4%）と回答した割合が最も多く、「抵抗がある（どちらかといえば抵抗がある、抵抗があるの合計）」と回答した割合は約6割（65.2%）に上る。
- 性年代別にみると、「抵抗がある（どちらかといえば抵抗がある、抵抗があるの合計）」と回答した割合は、男女ともに年代が上がるにつれて高くなり、『40歳代』で約7割（男性68.6%、女性67.8%）に上る。『女性20歳代』では「抵抗がある（どちらかといえば抵抗がある、抵抗があるの合計）」と回答した割合は約5割（51.3%）で、女性の場合は年代による差がある。

Ⅲ-3-(2)②-1.性年代別



※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q21 家事について、家事の負担を軽減するために家族等身近な人以外の家事代行（支援）サービスを利用することについて、あなたはどのように考えますか。あなたの考えにもっともあてはまるものをお答えください。

（2）②家事代行（支援）サービス利用の考え（抵抗感） 個人オンライン調査

- 個人オンライン調査において、性別・就労雇用形態別にみると、「抵抗がある（どちらかといえば抵抗がある、抵抗があるの合計）」と回答した割合は、男性の『非正規』（70.7%）、『無職』（68.9%）、『正規・役員』（67.1%）、女性の『無職』（68.4%）で高くなっている。
- 「抵抗はない（抵抗はない、どちらかといえば抵抗はないの合計）」と回答した割合は、女性の『自営・自由業』（46.1%）、『正規・役員』（40.7%）で約4割にのぼり、女性の他の雇用形態と比べて高い。

Ⅲ-3-(2)②-2.性別・就労雇用形態別

	n=	抵抗感				(%)	抵抗ない計	抵抗ある計
		抵抗はない	どちらかといえば抵抗はない	どちらかといえば抵抗がある	抵抗がある			
TOTAL	2166	8.9	25.9	44.4	20.8		34.8	65.2
男性 正規・役員	801	8.4	24.6	45.6	21.5		33.0	67.1
非正規	116	6.9	22.4	50.0	20.7		29.3	70.7
自営・自由業（専門職含む）	63	12.7	23.8	34.9	28.6		36.5	63.5
無職	77	14.3	16.9	29.9	39.0		31.2	68.9
女性 正規・役員	435	9.2	31.5	43.9	15.4		40.7	59.3
非正規	387	8.0	26.1	46.0	19.9		34.1	65.9
自営・自由業（専門職含む）	65	16.9	29.2	40.0	13.8		46.1	53.8
無職	218	7.8	23.9	44.5	23.9		31.7	68.4

※30サンプル未満の性別「その他」は参考値のため省略（TOTAL値には含む）

Q21 家事について、家事の負担を軽減するために家族等身近な人以外の家事代行（支援）サービスを利用することについて、あなたはどのように考えますか。あなたの考えにもっともあてはまるものをお答えください。

（2）③家事代行（支援）サービス利用の考え（抵抗感） 意見募集

意見募集

- 意見募集において、「抵抗はない」（32.3%）と回答した割合が最も多く、「抵抗はない（抵抗はない、どちらかといえば抵抗はないの合計）」と回答した割合は約6割（62.0%）に上る。
- 性年代別にみると、女性で「抵抗はない（抵抗はない、どちらかといえば抵抗はないの合計）」と回答した割合は年代が上がるにつれて高くなり、『女性50歳以上』では約7割（69.2%）に上る。

Ⅲ-3-(2)③-1.性年代別

	n=	抵抗はない	どちらかといえば抵抗はない	どちらかといえば抵抗がある	抵抗がある	(%)	抵抗ない計	抵抗ある計
TOTAL	5640	32.3	29.7	29.1	9.0		62.0	38.1
男性 計	236	39.8	26.3	25.4	8.5		66.1	33.9
男性39歳以下	157	39.5	24.8	28.0	7.6		64.3	35.6
男性40歳以上	79	40.5	29.1	20.3	10.1		69.6	30.4
女性 計	5334	31.8	29.9	29.3	9.0		61.7	38.3
女性30歳未満	582	27.1	28.4	32.1	12.4		55.5	44.5
女性30歳代	3526	31.2	30.1	29.6	9.2		61.3	38.8
女性40歳代	1119	35.5	30.2	27.3	7.0		65.7	34.3
女性50歳以上	107	39.3	29.9	25.2	5.6		69.2	30.8
その他	70	40.0	22.9	25.7	11.4		62.9	37.1

※意見募集では、男性の回答者数が少なく、個人オンライン調査と同じ年代別に分類できなかったため、39歳以下と40歳以上に分類している。

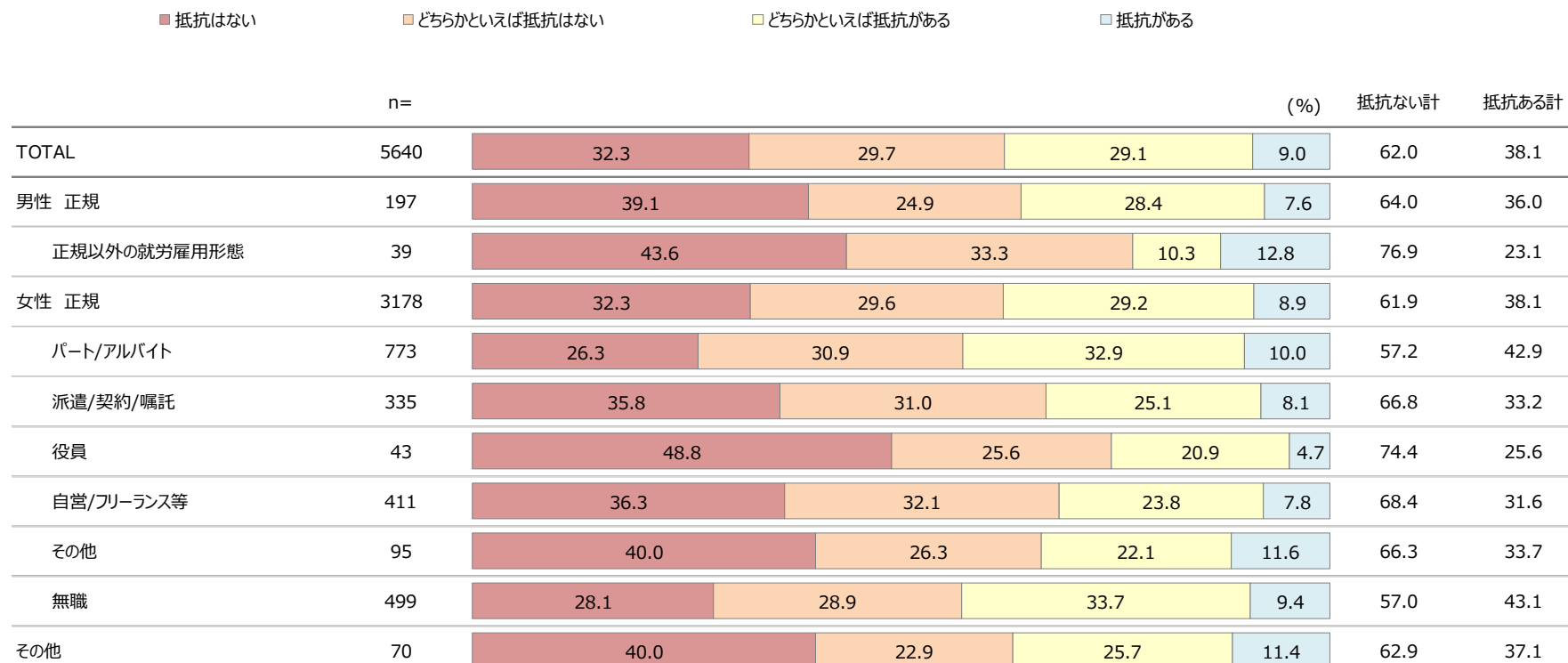
Q8 家事について、家事の負担を軽減するために家族等身近な人以外の家事代行（支援）サービスを利用することについて、あなたはどのように考えますか。あなたの考えにもっともあてはまるものをお答えください。

（2）③家事代行（支援）サービス利用の考え（抵抗感） 意見募集

意見募集

- 意見募集において、性別・就労雇用形態別にみると、「抵抗はない（抵抗はない、どちらかといえば抵抗はないの合計）」と回答した割合は、男性の『正規以外の就労雇用形態』（76.9%）、女性の『役員』（74.4%）で高くなっている。
- 「抵抗がある（どちらかといえば抵抗がある、抵抗があるの合計）」と答えた割合は、女性の『無職』（43.1%）、『パート/アルバイト』（42.9%）で高くなっている。

Ⅲ-3-(2)③-2.性別・就労雇用形態別



※意見募集では、男性の回答者数が少なく、個人オンライン調査と同じ就労雇用形態別に分類できなかったため、正規とそれ以外に分類している。

Q8 家事について、家事の負担を軽減するために家族等身近な人以外の家事代行（支援）サービスを利用することについて、あなたはどのように考えますか。あなたの考えにもっともあてはまるものをお答えください。

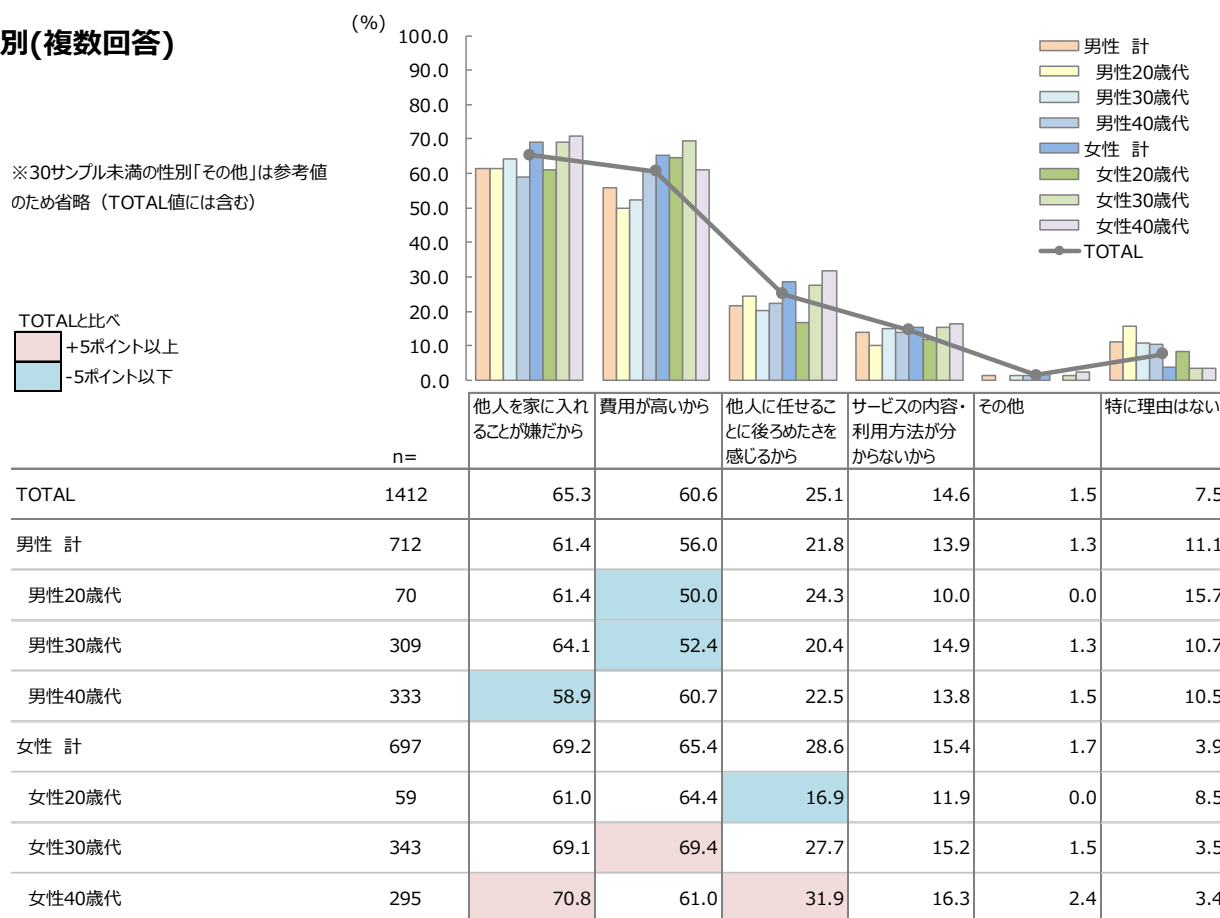
（3）家事代行（支援）サービス利用に抵抗がある理由

家事代行（支援）サービスに抵抗がある人

家事代行（支援）サービスに「抵抗がある」人に対して、その理由をたずねた。

- 全体で「抵抗がある」と回答した理由としては、「他人を家に入れることが嫌だから」（65.3%）が最も多く、次いで「費用が高いから」（60.6%）、「他人に任せることに後ろめたさを感じるから」（25.1%）の順となっている。
- 性年代別にみると、「他人を家に入れることが嫌だから」と回答した割合は、『女性40歳代』（70.8%）が最も高く、『男性40歳代』（58.9%）が最も低くなり、同じ年代でも性別によって差が見られた。

Ⅲ-3-(3)-1.性年代別(複数回答)



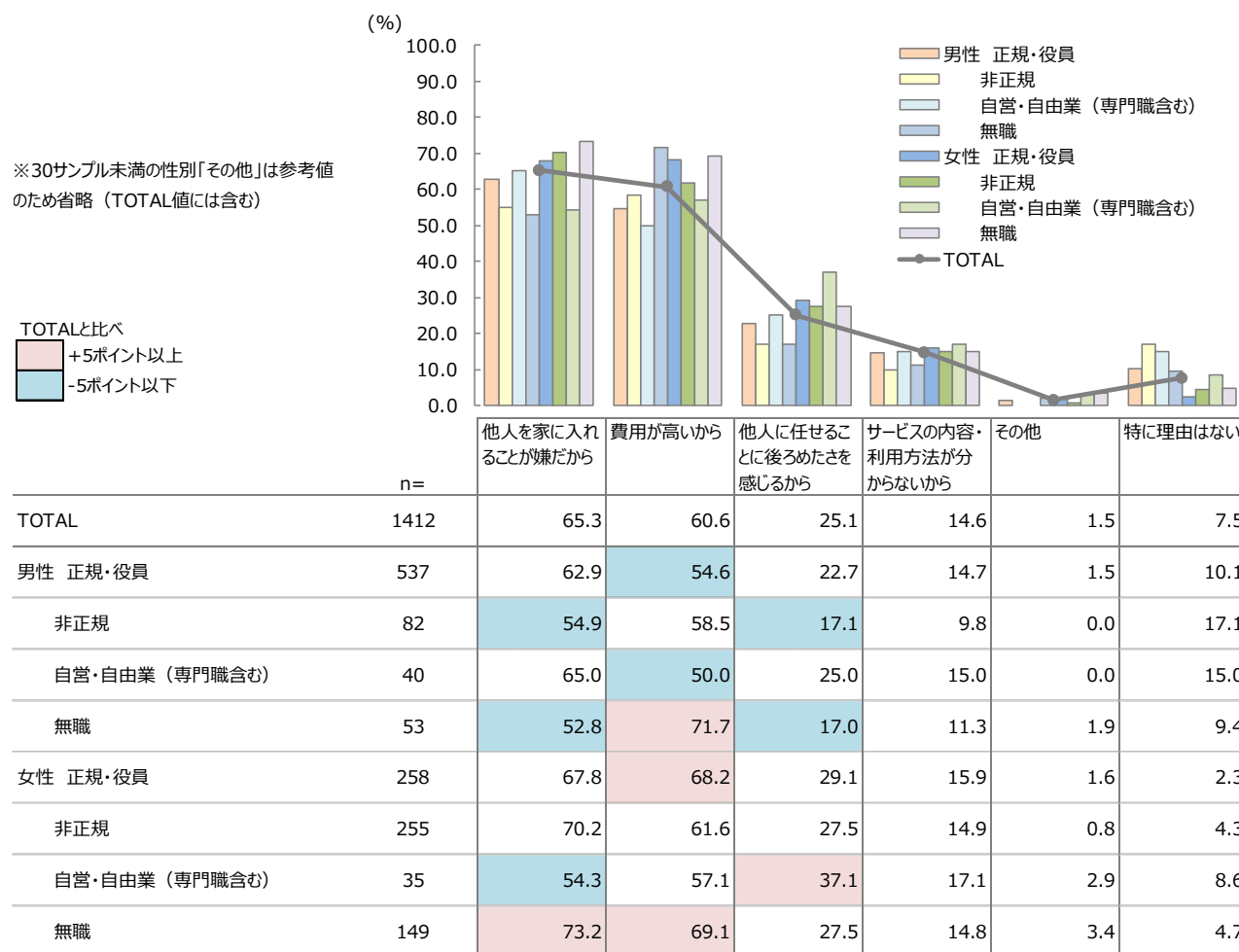
Q22 家事代行（支援）サービスの利用について、前問であなたは「抵抗がある」「どちらかといえば抵抗がある」とお答えになりましたが、抵抗がある理由は何ですか。あてはまるものすべてをお答えください。

（3）家事代行（支援）サービス利用に抵抗がある理由

家事代行（支援）サービスに抵抗がある人

- 性別・就労雇用形態別にみると、「他人を家に入れることが嫌だから」は『女性無職』（73.2%）で高い割合となっている。また、「費用が高いから」は男性の『無職』（71.7%）、女性の『無職』（69.1%）、『正規・役員』（68.2%）で高い割合を占めている。

Ⅲ-3-(3)-2.性別・就労雇用形態別(複数回答)



Q22 家事代行（支援）サービスの利用について、前問であなたは「抵抗がある」「どちらかといえば抵抗がある」とお答えになりましたが、抵抗がある理由は何ですか。あてはまるものすべてをお答えください。